

IBM WebSphere Commerce



Payments CustomOffline Cassette 補足

バージョン 5.5

IBM WebSphere Commerce



Payments CustomOffline Cassette 補足

バージョン 5.5

ご注意！

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、55ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書の内容は、IBM WebSphere Commerce Payments のバージョン 5.5、および新版で特に指定のない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原 典： IBM WebSphere Commerce
Payments CustomOffline Cassette Supplement
Version 5.5

発 行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2003.8

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 2000, 2003. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2003

目次

本書について	v
本書の表記規則	v
本書で使用する用語	vi
追加情報	vii
オンライン・ヘルプの使用	vii
印刷可能なドキュメンテーションの入手方法	vii
WebSphere Commerce 製品情報 Web サイトの閲覧	vii
WebSphere Commerce Payments のその他の資料および Web サイト	viii

第 1 章 WebSphere Commerce Payments の概要	1
WebSphere Commerce Payments とは何か	1
複数の支払いメソッドに対応する	1
WebSphere Commerce Payments における役割	2
WebSphere Commerce Payments のユーザー・インターフェース	3
WebSphere Commerce Payments のコンポーネント	4

第 2 章 CustomOffline Cassette とは何か	5
--	----------

第 3 章 構成の前に	7
------------------------------	----------

第 4 章 チュートリアル	9
ステップ 1: WebSphere Commerce Payments ユーザー・インターフェースへのアクセス	9
ステップ 2: WebSphere Commerce Payments マーチャントの作成とカセットの許可	10
ステップ 3: WebSphere Commerce Payments ユーザーの定義	11
ステップ 4: ユーザー役割の割り当て	11
マーチャント管理者としてのログオン	12
ステップ 5: アカウントの作成	13
ステップ 6: 「Sample Checkout」を使ったオーダーの作成	14
ステップ 7: オーダーの承認	15
「オーダー」ページでのオーダーの承認	16
販売機能によるオーダーの承認	16
ステップ 8: 決済のデポジット	17
ステップ 9: バッチの清算	17

ステップ 10: クレジットの発行	19
ステップ 11: バッチ合計の表示	21

第 5 章 キャッシャー・プロファイル	23
--------------------------------------	-----------

第 6 章 コマンド・リファレンス	25
金融コマンド	25
AcceptPayment	25
Approve	27
BatchClose	27
Deposit	28
Refund	28
サポートされているその他の金融コマンド	28
サポートされていない金融コマンド	29
管理コマンド	29
CreateAccount	29
ModifyAccount	29
サポートされているその他の管理コマンド	29
サポートされていない管理コマンド	30

第 7 章 オブジェクト・リファレンス	31
金融オブジェクト	31
Order	31
Payment	32
Credit	32
Batch	32
管理オブジェクト	32
Account	33

第 8 章 CustomOffline Cassette の戻りコード	35
--	-----------

第 9 章 CustomOffline Cassette のメッセージ	39
--	-----------

付録. 特記事項	55
商標	56

用語集	59
----------------------	-----------

索引	67
---------------------	-----------

本書について

本書の対象読者本書は、WebSphere Commerce Payments 環境でのカセットのデプロイメントを担当する CustomOffline Cassette のユーザーおよび管理者を対象としています。本書の情報は、カセットに関するさまざまな概念、およびカセットをインプリメントするために何が必要かについて説明します。WebSphere Commerce Payments の管理作業のためのアプリケーションを開発するプログラマーにとっては、本書に含まれているカセットに特有の情報が役立つでしょう。本書には、API コマンド、パラメーターの要件、およびオブジェクトに関する参照情報が含まれており、さらに実際にオブジェクトを使用する方法を示す XML の例が含まれています。

本書は、「WebSphere Commerce 管理ガイド」、および「WebSphere Commerce インストール・ガイド」を補足するものです。

注: IBM WebSphere Commerce Payments (以降、WebSphere Commerce Payments と表記) は、従来 Payment Manager と呼ばれていたものです。バージョン 3.1.3 以降は、この決済アプリケーションの名前が WebSphere Commerce Payments に変更され、本書での製品の呼称が変更されました。以前の製品の呼称が本書に残っている場合もありますが、これは、以前のバージョンの製品を指します。

本書の表記規則


本書では、以下のような強調表示の規則を使用しています。

- **太文字**は、フィールド名、アイコン名、またはメニュー選択項目などのグラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) のコントロール、またはコマンドを示します。
- **モノスペース (Monospace)** は、示されているとおりに入力するテキスト例、ファイル名、ディレクトリー・パスおよび名前を示します。
- **イタリック** は、語を強調するために使用します。また、実際のシステムに合わせて該当する値に置き換えることが必要な名前を示す場合もあります。

以下の名前が出てきたら、説明するとおりに、ご使用のシステムの値に置換してください。

 **Windows** は、Windows[®] オペレーティング環境に特有の情報を示します。

 **AIX** は、AIX[®] に特有の情報を示します。

 **Solaris** は、Solaris オペレーティング環境に特有の情報を示します。

 **400** は、IBM iSeries[™] 400 (旧称 AS/400[®]) に特有の情報を示します。

 **Linux** は、Linux に特有の情報を示します。

Linux は、特に指定がない限り、Intel® ワークステーション上の Linux と、IBM eServer iSeries、pSeries™、zSeries™、および S/390® の各システム上の Linux の両方を指します。

WC_installdir は、WebSphere Commerce のインストール・パスを表します。デフォルトでは、それは次のとおりです。

 /usr/lpp/WebSphere/CommerceServernn


  /opt/WebSphere/CommerceServernn

 drive:¥WebSphere¥CommerceServernn

 /QIBM/ProdData/CommerceServernn

Payments_installdir は、WebSphere Commerce Payments のインストール・パスを表します。デフォルトでは、それは次のとおりです。

 /usr/lpp/WebSphere/CommerceServernn/payments

  /opt/WebSphere/CommerceServernn/payments

 drive:¥WebSphere¥CommerceServernn¥payments

 /QIBM/ProdData/CommercePayments/Vnn

本書で使用する用語

本書で使用している決済カセット、マーチャント・サーバー、および *Payment Gateway* といった用語は、なじみが薄いかもしれません。本書や、WebSphere Commerce Payments のその他の資料で使用されている用語の定義については、本書付録の用語集を参照してください。また、WebSphere Commerce のオンライン・ヘルプにも用語の説明が含まれています。

WebSphere Commerce Payments の資料で使用されている次の用語は、WebSphere Commerce のオンライン・ヘルプや出版物で使用されているその他の用語に類似のものであります。

ストア と マーチャント

WebSphere Commerce においてストアの語は、オンライン・ストアのことを指して使用されます。オンライン・ストアでは、インターネットのさまざまなテクノロジーを使用することにより、商品を販売したりサービスを提供したりします。WebSphere Commerce Payments の場合、ストアはマーチャントと同じことです。たとえば、このマニュアルでマーチャントの設定やマーチャントの追加作業について述べられている場合、それはストアの設定やストアの追加作業ということです。

サイト管理者 と Payments 管理者

サイト管理者 は、WebSphere Commerce において、WebSphere Commerce とそれに伴うソフトウェアおよびハードウェアのインストール、構成作業、

および保守を担当するものとして定義された役割です。一般にこの役割は、アクセス権や許可を制御し、管理作業の実行においては最高の権限が付与されています。

同じように、WebSphere Commerce の決済コンポーネントにおいて、*Payments* 管理者 には、決済機能の実行時に最高の権限が付与されています。サイト管理者は *Payments* 管理者のさまざまな作業を実行できますが、サイト管理者の作業の中には、割り当てられているアクセス・レベルによっては *Payments* 管理者が実行できないものもあります。

マーチャント管理者

決済コンポーネントのユーザー・インターフェースにおいては、サイト管理者をマーチャント管理者 と呼びます。

追加情報

WebSphere Commerce および決済コンポーネントに関するさらに詳しい情報は、さまざまな形式でさまざまな情報源から入手できます。 WebSphere Commerce の情報源には、次のものがあります。

- オンライン・ヘルプ
- PDF (Portable Document Format) ファイル
- Web サイト

オンライン・ヘルプの使用

WebSphere Commerce のオンライン情報には、 WebSphere Commerce のカスタマイズ、管理、および再構成についての情報が含まれています。

WebSphere Commerce *Payments* のオンライン・ヘルプには、決済コンポーネントに付随するグラフィカル・ユーザー・インターフェースの使用法に関する情報が含まれています。 *Payments* のオンライン・ヘルプを表示するには、ユーザー・インターフェースの右上隅にある疑問符のアイコンをクリックします。

印刷可能なドキュメンテーションの入手方法

WebSphere Commerce のオンライン情報の一部は、システム上で PDF ファイルの形式でも入手できます。それを表示したり印刷したりするには、Adobe Acrobat Reader を使用します。さらに、WebSphere Commerce *Payments* の資料も PDF ファイルで提供されています。 Acrobat Reader は、Adobe Web サイトから無料でダウンロードできます。その Web アドレスは以下のとおりです。

<http://www.adobe.com>

PDF ファイルには、WebSphere Commerce のオンライン・ヘルプから、また WebSphere Commerce の製品情報に関する Web サイトからアクセスできます。

WebSphere Commerce 製品情報 Web サイトの閲覧

WebSphere Commerce 製品に関する情報は、以下の WebSphere Commerce の Web サイトで入手できます。

- Business Edition:

http://www.ibm.com/software/webservers/commerce/wc_be/

- Professional Edition:

http://www.ibm.com/software/webservers/commerce/wc_pe/

- Professional Entry Edition:

http://www.ibm.com/software/webservers/commerce/wc_pentry/

このマニュアル (すべてのアップデート・バージョンを含む) は、下記の WebSphere Commerce Web サイトの『Library』セクションから PDF ファイル形式で入手できます。

www.ibm.com/software/commerce/wscom/library/lit-tech.html

WebSphere Commerce Payments その他の資料および Web サイト

以下に示す資料には、WebSphere Commerce の決済コンポーネントに関連した情報が含まれています。

- 「*WebSphere Commerce* インストール・ガイド」には、プラットフォームごとに WebSphere Commerce Payments のインストールおよび構成の手順が載せられています。
- 「*WebSphere Commerce* 管理ガイド」には概念情報が含まれており、構成マネージャーのユーザー・インターフェースによる WebSphere Commerce Payments の構成方法が示されています。

本書は、これらの資料を補足するものです。その他のタイプの決済カセットについては、付加的な補足カセットが用意されている場合があります。それらの資料は、すべて Portable Document Format (PDF) 形式です。

WebSphere Commerce Payments についての詳細は、以下に示す Web サイトを参照してください。

- <http://www.ibm.com/software/webservers/commerce/payment/> には、WebSphere Commerce の支払い処理ソフトウェアに関する詳しい情報が記載されています。それには、WebSphere Commerce Payments で決済カセットを使用することについての情報が含まれます。
- <http://www.ibm.com/software/webservers/commerce/payments/support.html> には、WebSphere Commerce Payments に関する現行の技術情報が記載されており、WebSphere Commerce Payments の最新のドキュメンテーションへのリンクが含まれています。
- <http://www.ibm.com/software/webservers/commerce/payment/paymentcards.html> には、WebSphere Commerce Payments カセットの開発に関する情報が記載されています。

第 1 章 WebSphere Commerce Payments の概要

この章では、WebSphere Commerce Payments について、そのさまざまなデプロイメント、ユーザー役割、複数の支払いメソッド、ユーザー・インターフェース、および内部コンポーネントについて説明します。

WebSphere Commerce Payments とは何か

WebSphere Commerce Payments は、WebSphere Commerce のコンポーネントの 1 つであり、インターネット・マーチャントのために安全な電子決済処理を提供します。WebSphere Commerce Payments は、オープン規格のテクノロジーに基づいて、決済カセット を処理し、さまざまな決済プロトコルをサポートします。それには、次のものが含まれます。

- VisaNet。これは、決済の許可や清算の機能を含む国際的な遠隔データ通信および支払い処理のプロバイダーです。
- BankServACH。これは、オンライン電子小切手決済をサポートするための Automated Clearing House Network (ACH) とのインターフェースとなる決済ゲートウェイです。
- Paymentech。これは、Visa および MasterCard と直接リンクした、オンライン・クレジット・カード決済のマーチャント側処理システムです。
- サード・パーティー製の WebSphere Commerce Payments 用決済カセット。

簡潔に言うと、WebSphere Commerce Payments は、WebSphere Commerce と統合されて、支払い処理管理のためにキャッシュ・レジスターと同様の機能を提供します。バイヤーが WebSphere Commerce Payments と直接やり取りすることはありません。WebSphere Commerce Payments は、インターネット・マーチャントのストアフロントの背後に位置しており、支払いを受け取って銀行などの金融機関との間でそれを処理します。

複数の支払いメソッドに対応する

WebSphere Commerce Payments には、複数の支払いメソッドに対応する必要があるマーチャントのために、柔軟で拡張性の高い手段を提供する複数決済フレームワーク・アーキテクチャーが実装されています。複数決済フレームワークは、決済管理の処理 (フレームワーク) と、個々の決済の処理 (カセット) とを分離し、タイプごとに独立して進行および操作できるようにします。

WebSphere Commerce Payments は、各支払いメソッドのソフトウェア・カセットが決済フレームワークに接続するためのプラグイン・アーキテクチャーを提供します。どの支払いメソッドを使用するにしても、支払い授受のために必要な、インフラストラクチャーとなる一般的な機能はフレームワークから提供されます。

決済カセットは、 WebSphere Commerce Payments フレームワークのデータ・フローおよび制御規約に準拠したソフトウェア・アプリケーションです。各決済カセットには、特定の支払いメソッドおよびプロトコルのインプリメンテーションが含まれています。

カセットは、IBM によって、あるいはサード・パーティーの決済システムをインプリメントする人によって作成されます。IBM では、カセットの開発をサポートしており、独自の決済カセットの作成を考えている開発者に対してその詳細な手順を公開しています。カセットの開発については、「*WebSphere Commerce Payments Cassette Kit Programming Guide*」を参照してください。また、次の Web アドレスからダウンロードできます。

<http://www.software.ibm.com/commerce/payments/download.html>

WebSphere Commerce Payments における役割

WebSphere Commerce Payments において各ユーザーは、Payments 管理者とマーチャント管理者など、そのユーザーの役割に基づいてそれぞれ異なる観点から与えられる役割を施行します。マーチャントの組織内でも、WebSphere Commerce Payments により、マーチャントが自分のユーザーをモニターできるよう、異なるさまざまな役割を設けることができます。クラークはオーダーを承認するなどの操作に限定されることがありますが、マーチャントや Payments 管理者は金融機関との関係を変更することができます。

Payments フレームワークには 4 種類の役割があり、それぞれ WebSphere Commerce に対応する役割があります。これは、ユーザーを作成したり役割を割り当てたりする管理者かどうかを見分けるのに役立ちます。WebSphere Commerce 組織管理コンソールでユーザーを作成する場合、まずそれらのユーザーに、下記に示す WebSphere Commerce の役割を割り当てる必要があります。次に、それらのユーザーは Payments UI に表示され、そこで対応する Payments の役割を割り当てることができます。Payments のユーザー役割に関する次の表は、お勧めする WebSphere Commerce の役割の割り当て方法を示すものです。

表 1. 役割

Payments の役割	WebSphere Commerce の役割
Payments 管理者	サイト管理者
マーチャント管理者	サイト管理者
スーパーバイザー	オペレーションまたはセールス・マネージャー
クラーク	顧客サービス・スーパーバイザー

Payments 管理者とマーチャント管理者は、いずれも WebSphere Commerce Payments の管理作業を実行できます。スーパーバイザーとクラークは、財務面を担当します。スーパーバイザーとクラークが WebSphere Commerce Payments を管理することはありませんが、決済処理機能の管理は実行します。Payments の役割ごとの担当範囲を、次の表に示します。

表 2. 役割の担当範囲

役割	担当範囲
Payments 管理者	<ul style="list-style-type: none"> • マーチャント管理者、スーパーバイザー、およびクラークの定義 • マーチャントおよびカセットの構成作業 • Payments ホスト名および状況の識別 • インストール済みカセットの構成作業 • イベント・リスナーの追加、削除、および更新 • 決済の清算 • オーダーの承認または販売 • クレジットの発行およびクレジットの取り消し • オーダーのデポジット • オーダーおよびバッチの検索 • 日計のバッチ合計額の表示
マーチャント管理者	<ul style="list-style-type: none"> • マーチャント管理者、スーパーバイザー、およびクラークの定義 • マーチャントおよびカセットの構成作業 • イベント・リスナーの追加、削除、および更新
スーパーバイザー	<ul style="list-style-type: none"> • 決済の清算 • オーダーの承認または販売 • クレジットの発行およびクレジットの取り消し • オーダーのデポジット • オーダーおよびバッチの検索 • 日計のバッチ合計額の表示
クラーク	<ul style="list-style-type: none"> • 決済の清算 • オーダーの承認または販売 • オーダーのデポジット • オーダーおよびバッチの検索 • 日計のバッチ合計額の表示

WebSphere Commerce Payments のユーザー・インターフェース

WebSphere Commerce Payments のユーザー・インターフェースを使用することにより、Payments 管理者や、ホストされる WebSphere Commerce Payments を使用する個々のマーチャントは、次のことを実行できます。

- WebSphere Commerce Payments の構成作業
- 支払いメソッドに依存しない、次のルーチン決済処理作業の実行
 - 決済の承認
 - 決済のデポジット
 - バッチの清算
 - クレジットの発行

- 日計のバッチ合計額の表示

ブラウザー・ベースの WebSphere Commerce Payments ユーザー・インターフェースには、Web ブラウザーの Secure Sockets Layer (SSL) 機能を利用して安全なリモート・アクセスが可能です。

WebSphere Commerce Payments のコンポーネント

WebSphere Commerce Payments についてよく理解する上で、WebSphere Commerce Payments の次のコンポーネントを見るのが役立ちます。

- WebSphere Application Server により構成された Web サーバー
- WebSphere Commerce Payments サブレット
- ユーザー・インターフェース・サブレット
- データベース

WebSphere Commerce Payments サブレットは、WebSphere Commerce Payments の主要なコンポーネントです。このサブレットは、WebSphere Application Server と連動します。WebSphere Application Server は、あらゆるプラットフォームに共通のサブレット環境を提供する製品です。

Web サーバー・ベースのアーキテクチャーを使用することによって、WebSphere Commerce Payments は、多くのセキュリティー機能を活用しつつ HTTP 要求を処理するという、Web サーバーの機能を利用しています。

第 2 章 CustomOffline Cassette とは何か

CustomOffline Cassette は、受動 カセットの一種であり、手動決済取引を管理するために自動的に Payments にインストールされるものです。受動カセットは、WebSphere Commerce Payments の外部、かつ WebSphere Commerce Payments オブジェクト・モデル内で発生したイベントを記録します。取引は、WebSphere Commerce Payments データベース内にも記録および維持されます。受動カセットの通信相手となるバックエンド金融システムはありません。CustomOffline Cassette レコードによる Approve コマンドは、購買要求に伴う総合的なリスクを評価するために第三者の助けを得ながらマーチャントが手動で行った承認決定の結果を記録します。

この補足資料では、WebSphere Commerce Payments CustomOffline Cassette について説明します。WebSphere Commerce Payments でそれを使用することによりマーチャントは、「代金引換支払い (Collect On Delivery) (COD) や「請求書を発送 (Bill Me Later)」など、マーチャントが手動集金のために定義した方法による手動 決済取引に関する情報を管理することができます。本書には、COD と BillMe を両方とも構成する方法を示すチュートリアルも含まれています。本書において、典型的な手動操作を WebSphere Commerce Payments のアクションに対応付けるための方法が提案されています。しかし、実際のアクションを WebSphere Commerce Payments にどう対応付けるかは、手動決済でどの方法を使用するかに関係なく、結局はマーチャントが決定することになります。たとえば、下記のことをどのタイミングで実施するかは、マーチャントが決定します。

- 決済を承認済みまたは入金済みとしてマークする
- 新しいクレジットを作成する
- バッチをクローズする

マーチャントは、CustomOffline Cassette を使用することによって以下のことを実行できます。

- オンライン・ストアにより、バイヤーに関する一般情報を収集して WebSphere Commerce Payments に格納すること。その情報は、AcceptPayment コマンドによって WebSphere Commerce Payments に入れられ、そこでは新規 Order オブジェクトとしてデータが保存されます。請求先住所などカセットによって定義される支払い情報と共に、カセットを使用することによりマーチャントは、オーダーに伴う独自データを 2 種類まで保存することができます。
- WebSphere Commerce Payments ユーザー・インターフェースを使ってバイヤーについての情報を検索し、それを承認や集金のために使用すること。
- WebSphere Commerce Payments での手動取引の状態を記録すること。たとえば、特定の購入に伴うリスクが許容可能なものであるとマーチャントが判断した場合に、マーチャントは「オーダー」ページで「承認」ボタンを使用することにより、購入を承認したという事実を記録するなど。マーチャントは、決済、クレジット、およびバッチのあらゆる取引を記録できます。
- WebSphere Commerce Payments のユーザー・インターフェースおよびレポートを使用して、一日ごとにバッチを管理すること。

第 3 章 構成の前に

CustomOffline Cassette を構成するには、その前に次の作業を実行する必要があります。

- WebSphere Commerce のインストールの一部として WebSphere Commerce Payments が含まれていることの確認。
- WebSphere Commerce Payments インスタンスの作成。(あるいは、既存の Payments インスタンスにカセットを追加することもできます。)
- 構成マネージャーを使用して、 WebSphere Commerce Payments インスタンスにカセットを追加すること。
- WebSphere Commerce Payments インスタンスの開始。
- マーチャントとそのマーチャント用のマーチャント管理者の作成。

カセットを構成するには、マーチャントまたは Payments 管理者として WebSphere Commerce Payments にログオンしなければなりません。 WebSphere Commerce Payments は、CustomOffline Cassette と共にインストールされます。このカセットでサポートされる最小フレームワークは、WebSphere Commerce Payments バージョン 5.5 です。詳しくは、「*IBM WebSphere Commerce インストール・ガイド*」を参照してください。

第 4 章 チュートリアル

このチュートリアルは、WebSphere Commerce Payments の初期セットアップに関するものです。その初回セットアップの一部として、そして最も一般的な管理機能および決済機能の使用方法を示すため、WebSphere Commerce Payments には、CustomOffline Cassette と「Sample Checkout」を使用したチュートリアル・サポートが用意されています。管理、構成、および決済の機能については、WebSphere Commerce Payments ユーザー・インターフェースのオンライン・ヘルプを参照してください。

作動可能な WebSphere Commerce Payments をセットアップするためには、次の 5 つの作業を実行する必要があります。

1. WebSphere Commerce Payments ユーザー・インターフェースへのアクセス
2. WebSphere Commerce Payments マーチャントの作成と決済カセットの許可
3. WebSphere Commerce Payments ユーザーの定義
4. ユーザー役割の割り当て
5. アカウントの作成

構成作業が完了したなら、サンプル・オーダーを作成できるようになり、マーチャントが通常毎日実行する次のような支払い処理を開始できます。

6. オーダーの作成
7. オーダーの承認
8. 決済のデポジット
9. バッチの清算
10. クレジットの発行
11. 日計のバッチ合計額の表示

ステップ 1: WebSphere Commerce Payments ユーザー・インターフェースへのアクセス

最初のステップは、デフォルトの Payments 管理者として Payments にログオンすることです。

WebSphere Commerce Payments ユーザー・インターフェースにログオンするには、次のようにします。

1. Web ブラウザーで、`http://host_name:port/webapp/PaymentManager` を表示します。ここで、`host_name` は、Payments の Web サーバーが実行されているマシンのホスト名です。また `port` は、Payments が実行されているポート番号として Payments インスタンスの構成マネージャー WebServer 情報に示されている番号です。

Payments インスタンスで SSL を使用している場合には、`https://` を使用してください。

2. Payments ユーザー ID を入力します。

3. Payments パスワードを入力します。
4. 「ログオン」をクリックします。

重要: WebSphere Commerce Payments インスタンスが使用する HTTP サーバーが、デフォルト以外のポート番号を使用している場合は、このチュートリアルの中で参照されている WebSphere Commerce Payments Web アドレス・リンクの中で、ホスト名の後にそのポート番号を含めてください。たとえば、`http://host_name:80/webapp/PaymentManager` という Web アドレスは、ポート番号 80 を表します。

ユーザー・インターフェースの右上にあるアイコンの用途は、次のとおりです。

- 2 個の矢印のアイコンをクリックすると、ページが更新されます。
- 左矢印のアイコンをクリックすると、直前に表示したページに戻ります。
- 疑問符のアイコンをクリックすると、そのページのコンテキスト依存オンライン・ヘルプが表示されます。

ステップ 2: WebSphere Commerce Payments マーチャントの作成とカセットの許可

まだしていない場合、WebSphere Commerce のユーザー ID を使用することにより、Payments 管理者として WebSphere Commerce Payments にログオンします。それにより、グローバル表示およびグローバル権限になります。WebSphere Commerce Payments の構成作業の最初のステップは、マーチャントを作成し、そのマーチャントが決済カセットを使用するのを許可することです。マーチャントを作成し、カセットを許可するには、次のようにします。

1. ナビゲーション・フレームで、「**マーチャント設定**」をクリックします。
2. 「マーチャント設定」ページで、「**マーチャントの追加**」をクリックします。
3. 「マーチャント設定」ページで、次の情報を入力します (このチュートリアルでは、それらのフィールドにモノスペース体で示したテキストを入力する必要があります)。

表 3. マーチャント作成のためのフィールド

フィールド名	説明
マーチャント名	Custom Store と入力します。これは、マーチャントに割り当てる名前です。その唯一の機能は、ユーザー・インターフェースに表示することです。
マーチャント番号	987654321 と入力します。これは、すべての取引データにおいてそのマーチャントを固有に識別するために割り当てる番号です。
許可カセット	「 CustomOffline Cassette 」のボックスをチェックします。このボックスにチェックを付けると、マーチャントはこの決済カセットを使用できるようになります。

4. 「**マーチャントの作成**」をクリックして、マーチャントの構成情報を保管します。

このカセットの使用を許可するマーチャントを既に作成していた場合には、次のようにします。

1. 「マーチャント設定」をクリックします。
2. 「マーチャント名」をクリックします。
3. 「CustomOffline」のボックスを選択します。
4. 「更新」をクリックします。

これで、マーチャントがこのカセットを使用できるようになりました。

ステップ 3: WebSphere Commerce Payments ユーザーの定義

このチュートリアルには、以下に示すユーザーが関係しています。

- インストール中に作成される WebSphere Commerce サイト管理者のユーザー ID (「WebSphere Commerce インストール・ガイド」を参照)。
- Pat。定義するユーザー。

ユーザーを定義したり管理したりするには、WebSphere Commerce 組織管理コンソールを使用します。WebSphere Commerce Payments でのユーザー定義は、2 つの部分で構成されるプロセスです。たとえば、ユーザー Pat を定義する場合、WebSphere Commerce 組織管理コンソールを使用して、サイト管理者の役割を Pat に割り当てる必要があります。次に、Payments UI の中で直接に、または管理コンソールを使用することによって、Pat のユーザー役割をマーチャント管理者に割り当てます。ユーザーにアクセス権を割り当てるには、それ以前にマーチャントを作成しておく必要があります。

Payments ユーザーを構成するには、次のようにします。

1. Web ブラウザーで、`https://host_name:port/orgadminconsole` を表示します。
2. 「アクセス管理」→「ユーザー」をクリックします。
3. 「新規」をクリックします。
4. 「新規ユーザー」ウィザードを使用して、新しいユーザー Pat を作成します。
5. 「役割」ページで、Pat にストア管理者の役割を割り当てます。

WebSphere Commerce 製品からリモート・システムに WebSphere Commerce Payments をインストールしていて、WebSphere Commerce Payments のユーザー・インターフェースで WebSphere Commerce のスタイルシートを使用したい場合は、`Payments_installdir¥samples¥wcs¥PMCustomUI.properties` ディレクトリーにあるファイル `PMCustomUI.properties` を、WebSphere Commerce Payments の主インストール先ディレクトリーにコピーする必要があります。

ステップ 4: ユーザー役割の割り当て

ユーザーには、以下に示す WebSphere Commerce Payments の役割のいずれかを割り当てる必要があります。そのそれぞれに対して、WebSphere Commerce にも対応する役割があります。

表 4. 役割の対応

Payments の役割	WebSphere Commerce の役割
Payments 管理者	サイト管理者
マーチャント管理者	サイト管理者

表 4. 役割の対応 (続き)

Payments の役割	WebSphere Commerce の役割
スーパーバイザー	オペレーションまたはセールス・マネージャー
クラーク	顧客サービス・スーパーバイザー

以下に示すユーザーを作成します。

- ユーザー *Pat*
- マーチャント *Custom Store*

その後、WebSphere Commerce Payments の構成の中で、Pat の役割を割り当てることができます。

注: ユーザーに *WebSphere Commerce Payments* アクセスなし を割り当てると、これらのユーザーは *WebSphere Commerce Payments* にアクセスできなくなります。これは、従業員が休暇で不在の場合など、一時的にユーザー・アクセスを拒否したい場合に便利です。WebSphere Commerce Payments の役割許可については、「*WebSphere Commerce Payments* プログラミング・ガイドとリファレンス」の役割許可に関する表を参照してください。

Pat に *Custom Store* のマーチャント管理者の役割を割り当てるには、次のようにします。

1. Web ブラウザーで、`http://host_name:port/webapp/PaymentManager` を表示して、Payments にログオンします。
Payments インスタンスで SSL を使用している場合には、`https://` を使用してください。
2. ナビゲーション・フレームで、「ユーザー」をクリックします。
3. 「ユーザーの検索 (Users Search)」で、ユーザー名 Pat を入力し、「検索」をクリックします。
4. 「ユーザー」ページで、ユーザー名 **Pat** をクリックします。
5. 「マーチャント」スクロール・ボックスで、「**Custom Store**」を選択します。
6. マーチャント管理者のラジオ・ボタンを選択します。
7. 「更新」をクリックして、ユーザー構成を保管します。

ここで、WebSphere Commerce Payments ユーザー・インターフェースをログオフしてから、マーチャント管理者として再びログオンします。

マーチャント管理者としてのログオン

ログオフしてから再びログオンするには、次のようにします。

1. WebSphere Commerce Payments ユーザー・インターフェースのナビゲーション・フレームで、「**user のログオフ (Logoff user)**」をクリックして、WebSphere Commerce Payments のメイン「ログイン」ページに戻ります。
2. **ユーザー ID** として Pat を入力します。
3. Pat に対して定義されているパスワードを入力します。
4. 「**OK**」をクリックします。

このチュートリアルの残りの部分では、Custom Store のマーチャント管理者であるユーザー Pat の役割として操作を実行します。WebSphere Commerce Payments ユーザー・インターフェースの表示は、マーチャント管理機能のみに限定されることとなります。Payments 管理者の場合は、マーチャント管理者と Payments 管理者の両方の機能が表示されたグローバル表示になっていました。

ステップ 5: アカウントの作成

ここまでで、マーチャントとして Custom Store を定義し、決済カセットとして CustomOffline Cassette を有効にしました。マーチャント管理者としての最初の作業は、CustomOffline Cassette のアカウントを設定することです。

アカウントとは、マーチャントと、そのマーチャントのトランザクションを処理する金融機関との関係のことです。決済カセットごとに、複数のアカウントを設けることができます。このチュートリアルでは、CustomOffline Cassette 用の 1 つのアカウントを作成します。

アカウントを作成するには、次のようにします。

1. ナビゲーション・フレームで、「**マーチャント設定**」をクリックします。
2. 「マーチャント設定」ページで、Custom Store の CustomOffline Cassette アイコンをクリックします。
3. 「CustomOffline Cassette」ページで、「**アカウント**」をクリックします。
4. 「アカウント」ページで、「**アカウントの追加**」をクリックします。
5. 次のフィールドに値を入力します (このチュートリアルでは、モノスペース体で示したテキストを入力してください)。

表 5. アカウント追加のためのフィールド

フィールド名	説明
アカウント名	Custom Account と入力します。これは、アカウントに割り当てる名前です。その唯一の機能は、ユーザー・インターフェースに表示することです。
アカウント番号	11111111 と入力します。これは、あらゆる取引の中でアカウントを固有に識別するためにホスティング・サービス・プロバイダーまたはマーチャント管理者が割り当てる番号です。
金融機関名	Custom Bank と入力します。これは、このアカウントを保有する金融機関の名前です。その唯一の機能は、ユーザー・インターフェースに表示することです。
支払いメソッド名	CustomOffline 支払いメソッドの名前として、COD と入力します。このフィールドでは、大文字小文字が区別されます。ホストされる環境では、このフィールドをカスタマイズするとよいかもしれません。
バッチ・クローズ時刻	このアカウントについて、カセットが自動的にバッチをクローズする時刻を、深夜 0 時からの経過分数として指定します。値 0 は深夜 0 時を表します。指定可能な最大値は 1439 です。NULL 値にすると、バッチの自動クローズがオフになります。

6. 「アカウントの作成」をクリックし、 CustomOffline Cassette 用のアカウントを作成します。

ステップ 6: 「Sample Checkout」を使ったオーダーの作成

マーチャント管理者であれば、グローバル・マーチャント権限を持ち、それは以下を実行できることを意味します。

- マーチャント固有の管理機能
- すべての決済処理機能

実際のビジネスのシナリオでは、限定された決済処理権限を持つ他のマーチャント定義ユーザー (例: 店長や店員) に決済処理作業を代行させることがあります。このチュートリアルでは、マーチャント管理者として、そのようなタスクを実行します。決済処理を開始するのに必要な WebSphere Commerce Payments およびマーチャント管理タスクをすべて完了したら、以下のことを開始できる状態になります。

- オーダーの承認
- 決済のデポジット
- バッチの清算
- クレジットの発行
- 日計のバッチ合計額の表示

このチュートリアルでは、「Sample Checkout」を使用して、決済処理で使う 3 つのオーダーを作成します。「Sample Checkout」ツールには、カセットのインプリメンテーションをテストするためのサンプル・オーダーを作成することのできるユーザー・インターフェースが含まれています。「Sample Checkout」にアクセスするには、まずデフォルトのユーザー ID とパスワードを、後述のように変更する必要があります。

WebSphere Commerce Payments Sample Checkout にアクセスしてオーダーを作成するには、次のようにします。

1. 次のディレクトリーから、

```
WAS_installdir/installedApps/host_name/  
payments_instance_Commerce_Payments_App.ear/SampleCheckout.war
```

構成ファイル SampleCheckout.xml を開きます。

2. SampleCheckout 要素で、次のように属性を変更します。

```
pmHostname="fully_qualified_host_name"  
pmPort="port"  
userid="wc_userid"  
password="wc_password"
```

pmHostname には、 WebSphere Commerce Payments の Web サーバーの完全修飾ホスト名を入力します。 pmPort には、 WebSphere Commerce Payments が実行されているポート (Payments インスタンスの構成マネージャー Web サーバー情報で示されているもの) を入力します。 userid と password には、 WebSphere Commerce ユーザーのユーザー ID とパスワードを入力します。

Payments インスタンスで SSL を使用している場合は、 useSSL 属性の値として "1" を指定してください (useSSL="1")。

3. ファイルを保管します。
4. Web ブラウザーで、`http://host_name:port/webapp/SampleCheckout` を表示します。
ここで、`host_name` は、WebSphere Commerce Payments の Web サーバーが実行されているマシンのホスト名です。また `port` は、Payments が実行されているポート番号として Payments インスタンスの構成マネージャー WebServer 情報に示されている番号です。
Payments インスタンスで SSL を使用している場合には、`https://` を使用してください。
5. 「Sample Checkout」ページで、次の情報を入力します (このチュートリアルでは、モノスペース体で示したテキストをこれらのフィールドに入力する必要があります)。

表 6. *Sample Checkout CustomOffline* のフィールド

フィールド名	説明
マーチャント番号	マーチャント番号を表す任意の番号。このチュートリアルでは、987654321。
オーダー番号	オーダー番号を表す任意の番号。
金額 (Amount)	オーダーの合計金額。
通貨 (Currency)	ドロップダウン・リストから、「米ドル (US Dollar)」を選択します。
決済方式 (Payment method)	「代金引換」のラジオ・ボタンを選択します。
配送先住所 (Shipping Address)	住所を入力します。

6. 「購入」をクリックします。

以上のステップをさらに 2 回繰り返して、決済処理を実行するオーダーを 3 個作成します。

ステップ 7: オーダーの承認

「Sample Checkout」を使用して 3 個のオーダーを作成したなら、それらのオーダーを承認することができます。オーダーを承認するには、次のようにします。

1. ブラウザーで、再び `http://host_name:port/webapp/PaymentManager` を表示し、Pat としてログオンします。
Payments インスタンスで SSL を使用している場合には、`https://` を使用してください。
2. ナビゲーション・フレームで、「承認」をクリックします。
3. 「承認」ページで、作成したオーダーの 1 つに対応するボックスを選択します。
4. 「選択して承認」をクリックします。「承認結果」ページに、承認要求の状況が表示されます。
5. 承認が完了したら、「承認画面に戻る」をクリックします。

さらに 2 個のオーダーの承認が必要です。「すべて承認」をクリックすれば、「承認」ページからすべての金額を同時に承認できます。しかし、承認機能のさまざまな場合を示すため、個々のオーダーの動作を 1 つ 1 つ記述することにします。

「オーダー」ページでのオーダーの承認

ここでは、「オーダー」ページのオーダーの合計オーダー金額のうち一部だけを承認します。商品取引がバックオーダーされた場合など、そのオーダーに含まれる商品のうちの一部を配送できない場合、オーダーの一部だけを承認することが役立つことがあります。

1. 「承認」ページで、残りの承認待ちのオーダーのうちの 1 つの「オーダー番号」をクリックします。
2. 「オーダー」ページで、オーダーの詳細を見ることができます。「承認」をクリックして、このオーダーを承認します。
3. 「オーダー番号承認 (Order number approve)」ページに、次のフィールドが表示されます。

表 7. 「オーダー番号承認 (Order number approve)」のフィールド

フィールド名	説明
通貨 (Currency)	このオーダーの発行に使用された通貨のタイプ。これは読み取り専用フィールドです。
オーダー金額 (Order Amount)	発注に使用した通貨で表した合計オーダー金額。これは読み取り専用フィールドです。
承認額 (Approved Amount)	これは読み取り専用フィールドです。承認されたオーダー金額はまだないため、ここには 0 が表示されます。
デポジット金額 (Deposited Amount)	これは読み取り専用フィールドです。承認または入金されたオーダー金額はまだないため、ここには 0 が表示されます。
承認額 (Approval Amount)	合計オーダー金額。
与信コード	手動オフライン与信要求処理から戻される与信コード。決済の状態は、承認済みに変更されます。
拒否理由	手動オフライン与信処理から戻される拒否理由。決済の状態は、拒否済みに変更されます。
AVS 結果コード (AVS Result Code)	アドレス検証システムの結果コード。

承認額を 3.00 に変更してください。オプションとして、金額を承認する与信理由、または拒否したことを示す拒否理由を指定することもできます。

4. 「承認」をクリックして、この 3 ドルのオーダーを承認します。承認処理の完了後、「オーダー」ページが更新され、承認状況が表示されます。

販売機能によるオーダーの承認

直前のオーダーの処理では一部を承認していることになり、「承認」ページにはまだ 2 つのオーダー項目があります。このステップでは、残りのオーダーを承認するために販売機能を使用します。

販売機能を使うと、オーダーを承認してから、承認 (Approved) 状態をバイパスして直接デポジット済み (deposited) 状態にすることができます。販売機能は、オーダー

の決済を自動的に承認してデPOSITします。これにより、販売を自動デPOSITによる承認と見なすことができます。販売機能を使用すると、ダウンロード可能ソフトウェアや電子情報を販売する場合などに、バイヤーへの商品配達を円滑に進めたり、確実に集金したりできます。しかし、販売機能を使用して承認の与信理由や拒否理由を設定することはできません。販売では承認とデPOSITが 1 つの取引としてマージされるため、これは取引単位で課金する場合にも便利です。

販売機能によってオーダーを承認するには、次のようにします。

1. ナビゲーション・フレームで、「承認」をクリックします。
2. 「承認」ページで、「すべて販売」をクリックします。処理が完了すると、販売のために送信されたオーダーごとに、承認の状況が表示されます。
3. 販売が完了したら、「承認画面に戻る」をクリックします。

ステップ 8: 決済のデPOSIT

Deposit 関数を使用すると、オーダーの決済をデPOSITすることができます。1 つのオーダー番号に複数の決済を関連付けることが可能です。1 つのリスト内に同じオーダー番号が、それぞれ異なる決済情報を伴って複数回表示されることがあります。

決済をデPOSITするには、次のようにします。

1. ナビゲーション・フレームで、「デPOSIT」をクリックします。
2. リスト中の決済のいずれかに対応するボックスを選択してから、「選択してデPOSIT」をクリックします。処理が完了すると、デPOSITのために送信された決済ごとにデPOSITの状況が表示されます。
3. デPOSITが完了したら、「デPOSIT画面に戻る」をクリックします。

1 つの決済の一部のデPOSITも可能です。決済の一部をデPOSITするには、次のようにします。

1. 「デPOSIT」ページで、デPOSIT待ちの決済の 1 つの「決済番号」をクリックします。
2. 「支払い」ページで、「デPOSIT」をクリックします。
3. 「オーダー決済 (Order Payment)」ページで、デPOSIT額を 2.00 に変更してから、「デPOSIT」をクリックします。

ステップ 9: バッチの清算

バッチとは、金融機関によって一単位として処理される決済とクレジットの集まりのことです。バッチは、マーチャントとアカウントに関連付けられます。前のステップでデPOSIT (入金) した支払いは、今はバッチの中に現れています。そのバッチを清算することによって、金融機関による処理を開始する必要があります。清算が完了すると、金融機関が振り込みを実行することになります。

バッチを清算するには、次のようにします。

1. ナビゲーション・フレームで、「バッチの検索」をクリックします。または、「清算」をクリックします。

2. 「バッチの検索」ページでは、検索結果を絞るために次のような情報を入力することができます (このチュートリアルの場合、必ずしもこれらのフィールドを入力する必要はありません)。

表 8. バッチ検索のフィールド

フィールド名	説明
マーチャント	検索するバッチの対象のマーチャント名です。 WebSphere Commerce Payments データベース内にあるマーチャントが 500 以下であれば、ドロップダウン・リストでそのマーチャントの名前を選択します。 WebSphere Commerce Payments データベース内に 500 以上のマーチャントがある場合、該当するマーチャントの名前を入力します。
バッチ番号 (Batch Number)	マーチャント内のバッチを固有識別する番号。決済がデポジットされるときに割り当てられます。
状態 (State)	バッチの状態: <ul style="list-style-type: none"> • オープン (Open) • クローズ (Closed)
収支状況	このバッチの収支均衡の状況: <ul style="list-style-type: none"> • 均衡 このバッチは、正常に収支均衡が取られています。つまり、すべての合計額が一致しています。 • 不均衡 このバッチの収支に失敗しました (つまり、合計額の中に一致しないものがありました)。
決済タイプ (Payment Type)	オーダーの発行に使用される支払いメソッド、すなわちプロトコルを識別します (例: CustomOffline)。
バッチ・オープン日付	次のように、「検索開始日付」フィールドと「検索終了日付」フィールドを使って、指定した期間中にオープンされているバッチを検索します。 <ul style="list-style-type: none"> • 「検索開始日付」 日付を指定して、この日付以降にオープンされたすべてのバッチを検索します。 • 「検索終了日付」 日付を指定して、この日付以前にオープンされたすべてのバッチを検索します。
バッチ・クローズ日付	次のように、「検索開始日付」フィールドと「検索終了日付」フィールドを使って、指定した期間中にクローズされているバッチを検索します。 <ul style="list-style-type: none"> • 「検索開始日付」 日付を指定して、この日付以降にクローズされたすべてのバッチを検索します。 • 「検索終了日付」 日付を指定して、この日付以前にクローズされたすべてのバッチを検索します。
アカウント (Account)	処理中のオーダーに関与するアカウント。定義されているアカウントが 500 個を超える場合には、入力フィールドにアカウント番号を入力します。

3. 「検索」をクリックします。

ヒント: 「検索開始日付」フィールドと「検索終了日付」フィールドは、検索において特定のバッチを除外して検索結果を限定するためにも使用できます。たとえば、「検索終了日付」に 08/01/2003、「検索開始日付」に

08/15/2003 を指定して、オープンされていたすべてのバッチを検索できます。こうすれば、08/02/2003 ~ 08/14/2003 にオープンされたバッチはすべて除外されます。

4. バッチ番号をクリックし、そのバッチの情報を表示します。
5. このバッチ内のすべての決済とクレジットの詳細なリストを表示するには、「バッチ詳細」をクリックします。
6. 「清算」をクリックしてバッチを清算します。処理の完了後、「清算結果」ページに清算の状況が表示されます。

古い情報を整理するために清算済みのバッチを削除することもできます。そのためには、そのバッチに含まれるすべてのオーダーとクレジットがすべてクローズされ削除された後に、「清算結果」ページで「削除」をクリックします。バッチを削除すると、そのバッチに付随するすべての情報（決済、クレジット、およびカセット固有のデータ）も削除されます。監査などのために決済データをすべて保存しておきたい場合は、バッチを削除しないようにしてください。

ステップ 10: クレジットの発行

クレジットは、オーダーに対して発行され、そのオーダーの合計金額以下の任意の金額に対して与えられます。

クレジットを発行するには、次のようにします。

1. クレジットを発行するオーダーを検索するため、ナビゲーション・フレームで「オーダーの検索」をクリックします。
2. 「オーダーの検索」ページでは、次の情報を入力することができます（このチュートリアルの場合、必ずしもこれらのフィールドを入力する必要はありません）。

表9. オーダー検索のフィールド

フィールド名	説明
マーチャント	検索するオーダーに関連したマーチャント名です。 WebSphere Commerce Payments データベース内にあるマーチャントが 500 以下であれば、ドロップダウン・リストでそのマーチャントの名前を選択します。 WebSphere Commerce Payments データベース内に 500 以上のマーチャントがある場合、該当するマーチャントの名前を入力します。
オーダー番号	オーダーを固有に識別するためにマーチャントが割り当てる番号。
状態 (State)	オーダーの状態: <ul style="list-style-type: none"> • 要求済み (Requested) • オーダー済み (Ordered) • リファンド可能 (Refundable) • キャンセル (Canceled) • クローズ (Closed)
決済タイプ (Payment Type)	オーダーの発行に使用される支払いメソッド、すなわちプロトコルを識別します (例: CustomOffline)。

表9. オーダー検索のフィールド (続き)

フィールド名	説明
オーダー日付 (Order Date)	次のように、「検索開始日付」フィールドと「検索終了日付」フィールドを使って、指定した期間中にオープンされているオーダーを検索します。 <ul style="list-style-type: none"> 「検索開始日付」 日付を指定して、この日付以降にオープンされたすべてのオーダーを検索します。 「検索終了日付」 日付を指定して、この日付以前にオープンされたすべてのオーダーを検索します。
オーダー金額 (Order Amount)	<ul style="list-style-type: none"> 通貨 このオーダーの発行に使用された通貨。ドロップダウン・リストから通貨タイプを選択します。 より大 指定した値よりも大きいかまたは等しいオーダー金額のすべてのオーダーを検索する値を指定します。 より小 指定した値よりも小さいかまたは等しいオーダー金額のすべてのオーダーを検索する値を指定します。
アカウント (Account)	このオーダーをクレジット処理するアカウント。定義されているアカウントが 500 個を超える場合には、入力フィールドにアカウント番号を入力します。

- 「検索」をクリックします。
- 「オーダー検索結果」ページで、リファンド可能状態にあるオーダーのオーダー番号をクリックし、そのオーダーの詳細を表示します。
- 「オーダー」ページの「クレジット」をクリックし、このオーダーに対するクレジットを作成します。
- 「クレジットの作成」ページに、次の情報が表示されます。

表10. クレジット作成のフィールド

フィールド名	説明
通貨 (Currency)	このオーダーの発行に使用された通貨のタイプ。これは読み取り専用フィールドです。
オーダー金額 (Order Amount)	発注に使用した通貨で表した合計オーダー金額。これは読み取り専用フィールドです。
承認額 (Approved Amount)	承認された合計オーダー金額を発注に使用した通貨で表したものの。これは読み取り専用フィールドです。
デPOSIT金額 (Deposited Amount)	発注に使用した通貨で表した合計オーダー金額。これは読み取り専用フィールドです。
クレジット金額 (Credit Amount)	マーチャント管理者は、このフィールドに、ショッパーに対するクレジット合計金額を入力する必要があります。
与信理由 (Authorization Reason)	手動オフライン与信要求処理から戻される与信コード。クレジットの状態は、リファンド済みに変更されます。
拒否理由	手動オフライン与信処理から戻される拒否理由。クレジットの状態は、拒否済みに変更されます。

クレジット金額を入力してから、「クレジット」をクリックします。

クレジットの処理が完了すると、「オーダー」ページが更新され、クレジットの状況が表示されます。「クレジット」の下に新たに作成されたクレジットが表示されます。

ステップ 11: バッチ合計の表示

このチュートリアル最後のステップは、日次バッチ合計を表示することです。WebSphere Commerce Payments のレポート機能を使用すると、クローズ状態のバッチの**日次合計額**を表示できます。

日次バッチ合計レポートを生成するには、次のようにします。

1. ナビゲーション・フレームで、「**レポート**」をクリックします。
2. 「レポート」ページで、「**日次バッチ合計**」をクリックします。
3. 「バッチ合計レポート」ウィンドウで、バッチ合計額レポートを作成する**日付**を入力します。当日の日付のレポートを生成する場合は、このフィールドをブランクのままにしておいてください。
4. **マーチャント名**を入力または選択します。マーチャント名を入力しない場合は、指定された日付の全バッチのリストが表示されます。バッチの数が 500 を超える場合は、最初の 500 個のバッチのみが表示されます。
5. 「**検索**」をクリックします。

「日次バッチ合計」レポートは、「**検索**」ページで指定された日付にクローズされたすべてのバッチの合計額を計算します。ここでは検索日付を指定しなかったことで、生成されたレポートには、その日のバッチ合計が示されます。この合計額は通貨別に計算されるので、通貨ごとに 1 行ずつが使われます。これらの合計には、CustomOffline Cassette によるものだけでなく、すべての支払いメソッドについてなされたすべての決済およびクレジットが含まれます。

以上で、Payments 管理者およびマーチャント管理者の 1 日を終了しました。個々のビジネス・モデルは異なる可能性があります。このチュートリアルでは、実動用の WebSphere Commerce Payments を確立するための基本方針を概説し、WebSphere Commerce Payments を通じてインプリメントされる基本的な決済処理を、実例を使って示しました。WebSphere Commerce Payments ユーザー・インターフェースの個々のフィールドの詳細は、オンライン・ヘルプを参照してください。

第 5 章 キャッシャー・プロファイル

WebSphere Commerce Payments Cashier をマーチャント・ソフトウェアなどのクライアント・アプリケーションから呼び出すことにより、WebSphere Commerce Payments のオーダーと決済のプロセスを単純化することができます。キャッシャーは、プロファイルと呼ばれる XML 文書を使用します。この文書には、指定カセットでのオーダーの作成方法が記載されています。クライアント・コードの開発時にこれを使用すれば、カセット固有情報を処理するコードの作成に煩わされることなく、普通のやり方で WebSphere Commerce Payments に統合するだけで済みます。

ただし、キャッシャーを使わなくても WebSphere Commerce Payments オーダーを作成することはできます。たとえば、プログラムでクライアント・アクセス・ライブラリーまたは HTTP/XML インターフェースを使用すれば、AcceptPayment API を使用できます。ただし、キャッシャーを使用すると、システムに新しいカセットを取り入れる際にコードを書き直す必要がないため、キャッシャーの使用が推奨されます。キャッシャーの詳細については、「*WebSphere Commerce Payments プログラミング・ガイド*とリファレンス」を参照してください。

キャッシャー・プロファイルは、どのように WebSphere Commerce Payments オーダーを作成すればよいかを個々の支払いメソッドごとに記述しています。プロファイルは、キャッシャーに必要なすべての情報を備えた XML 文書です。キャッシャーはこれを使って、該当する支払いメソッドをサポートするカセット用のオーダーを作成するための WebSphere Commerce Payments API 要求を作成します。すべてのプロファイルには、次のデータを組み込まなければなりません。

- ウォレットを使用するかどうかの指示 (このフラグは、AcceptPayment コマンドと ReceivePayment コマンドのどちらをキャッシャーで使用するべきかを指定します。)
- 必須の WebSphere Commerce Payments パラメーター
- 必須のカセット・パラメーター
- キャッシャーが上記のそれぞれのパラメーターに値を提供する方法の指定

さらに、プロファイルには、次のオプション・データを組み込むことができます。

- 各プロファイルごとにどの WebSphere Commerce Payments インスタンスを使用するかの指示
- オプションの WebSphere Commerce Payments パラメーター
- オプションのカセット・パラメーター
- クライアント・コードで、購入者情報を収集するための購入ページを作成する方法を指定する購入ページ情報。たとえば、個々のカセットに必要なクレジット・カード情報を収集する HTML 書式を購入ページ情報に加えることができます。
- プロファイルについて診断情報が使用可能にされるかどうかの指示

キャッシャー・プロファイルでは、次の 4 つの方法でパラメーター値を指定することができます。

1. プロファイル内で定数としてハードコーディングする

2. `CollectPayment()` 呼び出しで環境変数として渡す
3. リレーショナル・データベース・フィールドから取られるように指定する
4. キャッシャー拡張コードによって計算されるように指定する

CustomOffline Cassette キャッシャー・プロファイルは、次のとおりです。

表 11. CustomOffline Cassette キャッシャー・プロファイル

キャッシャー・プロファイルのファイル名	機能
WC51_CustomOfflineBillMe.profile	すべての AVS 情報を利用します。配送および配達住所情報を収集します。
WC51_CustomOfflineCOD.profile	配達住所情報を収集します。
SampleCheckoutCustomOfflineBillMe.profile	すべての AVS 情報を利用します。「Sample Checkout」の配送および配達住所情報を収集します。
SampleCheckoutCustomOfflineCOD.profile	「Sample Checkout」の配達住所情報を収集します。

まず、CustomOffline Cassette キャッシャー Sample Checkout プロファイルは、次のディレクトリーにあります。

`Payments_installdir/cassettes/CustomOffline/SampleCheckout/profiles`

カセットがインスタンスに追加されると、そのファイルが次のディレクトリーにコピーされます。

`Payments_installdir/wc.mpf.ear/SampleCheckout.war/profiles`

あるインスタンスのプロファイルを変更するためには、次のディレクトリーにあるプロファイルを変更する必要があります。

`WAS_installdir/installedApps/node_name/payments_instance_Commerce_Payments_App.ear/SampleCheckout.war/profiles`

注: 特定のインスタンスに関して、

`Payments_installdir/wc.mpf.ear/SampleCheckout.war/profiles` ディレクトリー内のプロファイルは変更しないようにしてください。この場所にあるプロファイルに対してなされた変更は、すべての Payments インスタンスに影響します。

プロファイルの設計と調整については、「*WebSphere Commerce Payments プログラミング・ガイド*とリファレンス」を参照してください。

400 CustomOffline Cassette Cashier プロファイルは、次のディレクトリーにあります。

`QIBM/UserData/WebAS5/Base/WAS_instance/installedApps/node_name/Payments_instance_Commerce_Payments_App.ear/SampleCheckout.war`

第 6 章 コマンド・リファレンス

ここでは、WebSphere Commerce Payments アプリケーション・プログラミング・インターフェース (API) の各コマンドごとに、次の情報について説明します。

- フレームワークのオプション・パラメーターごとに、それが CustomOffline Cassette でどうサポートされているか、あるいはサポートされているかどうか
- CustomOffline Cassette によるフレームワーク・パラメーターの処理に関連した注意事項
- CustomOffline Cassette 固有のすべてのプロトコル・パラメーター

各表の「必須 (R) / オプション (O)」欄の値は、必須の場合には **R**、オプションの場合には **O** になっています。

金融コマンド

AcceptPayment

表 12. AcceptPayment コマンドのキーワード

キーワード	必須 (R) / オプション (O)	値
APPROVEFLAG	O	完全にサポート。
PAYMENTAMOUNT	O/R	完全にサポート。APPROVEFLAG が 1 の場合は必須。
DEPOSITFLAG	O	完全にサポート。
BATCHNUMBER	O	バッチはすべて暗黙でオープンされるので、指定不可。
\$METHOD	R	手動支払いメソッドを使用することを示す。マーチャントの手動アカウントのセットとして構成したメソッドの 1 つに一致していなければならない。長さが 1 ~ 32 バイトの ASCII ストリング。事前に構成されたデフォルトの支払いメソッドはない。
\$COUNTRYCODE	O	バイヤーの住所の国別コード。手動支払いメソッドに応じて、請求先住所の場合と配送先住所の場合がある。このフィールドには、DBCS を含む各国語文字を使用可能。
\$STREETADDRESS	O	バイヤーの住所の番地。手動支払いメソッドに応じて、請求先住所の場合と配送先住所の場合がある。このフィールドには、DBCS を含む各国語文字を使用可能。
\$CITY	O	バイヤーの住所の市区町村。手動支払いメソッドに応じて、請求先住所の場合と配送先住所の場合がある。このフィールドには、DBCS を含む各国語文字を使用可能。
\$STATEPROVINCE	O	バイヤーの住所の都道府県。手動支払いメソッドに応じて、請求先住所の場合と配送先住所の場合がある。このフィールドには、DBCS を含む各国語文字を使用可能。

表 12. AcceptPayment コマンドのキーワード (続き)

キーワード	必須 (R) / オプション (O)	値
\$POSTALCODE	O	バイヤーの住所の郵便番号。手動支払いメソッドに応じて、請求先住所の場合と配送先住所の場合がある。このフィールドには、DBCS を含む各国語文字を使用可能。
\$SAUXILIARY1	O	バイナリー・ストリング、長さ 0 ~ 254 文字。マーチャントの指定する決済データ。このフィールドの内容は、マーチャント・ソフトウェアによってのみ識別される。
\$SAULILIARY2	O	バイナリー・ストリング、長さ 0 ~ 254 文字。マーチャントの指定する決済データ。このフィールドの内容は、マーチャント・ソフトウェアによってのみ識別される。
\$AUTHCODE	O	承認された決済と共に保管する与信コード。AcceptPayment コマンドで APPROVEFLAG=1 も指定されている場合のみ使用。長さが 1 ~ 64 バイトの ASCII 文字ストリング。 \$AUTHCODE を指定する場合、そのオーダー金額に対する PAYMENT_APPROVED 状態の決済も作成され、ReferenceNumber は \$AUTHCODE の値に設定される。 \$DECLINEREASON も指定されている場合、コマンドは PRC_INVALID_PARAMETER_COMBINATION、RC_CASSETTE_AUTHCODE_AND_DECLINEREASON のエラーになる。このパラメーターと \$DECLINEREASON のどちらについても APPROVEFLAG=1 が指定されていない場合、そのオーダー金額について ReferenceCode が空の承認済み決済が作成される。
\$DECLINEREASON	O	拒否された決済と共に保管する拒否コード。AcceptPayment コマンドで APPROVEFLAG=1 も指定されている場合のみ使用。長さが 1 ~ 16 バイトの ASCII 文字ストリング。 \$DECLINEREASON を指定する場合、PAYMENT_DECLINED 状態の決済も作成され、ReferenceNumber は \$DECLINEREASON の値に設定される。 \$AUTHCODE も指定されている場合、コマンドは PRC_INVALID_PARAMETER_COMBINATION、RC_CASSETTE_AUTHCODE_AND_DECLINEREASON のエラーになる。

Approve

表 13. Approve コマンドのキーワード

キーワード	必須 (R) / オプション (O)	値
BATCHNUMBER	O	バッチはすべて暗黙でオープンされるので、指定不可。
DEPOSITFLAG	O	完全にサポート。
\$AUTHCODE	O	承認された決済と共に保管する与信コード。長さが 1 ~ 16 バイトの ASCII 文字ストリング。\$AUTHCODE を指定する場合、PAYMENT_APPROVED 状態の決済が作成され、ReferenceNumber は \$AUTHCODE の値に設定される。このパラメーターと \$DECLINEREASON のどちらも指定されていない場合、状態が PAYMENT_APPROVED で ReferenceCode が空の決済が作成される。\$DECLINEREASON も指定されている場合、コマンドは PRC_INVALID_PARAMETER_COMBINATION、RC_CASSETTE_AUTHCODE_AND_DECLINEREASON のエラーになる。
\$DECLINEREASON	O	拒否された決済と共に保管する拒否コード。長さが 1 ~ 256 バイトの ASCII 文字ストリング。\$DECLINEREASON を指定する場合、PAYMENT_DECLINED 状態の決済が作成され、declineReason フィールドは \$DECLINEREASON の値に設定される。\$AUTHCODE も指定されている場合、コマンドは PRC_INVALID_PARAMETER_COMBINATION、RC_CASSETTE_AUTHCODE_AND_DECLINEREASON のエラーになる。

BatchClose

表 14. BatchClose コマンドのキーワード

キーワード	必須 (R) / オプション (O)	値
\$FIBATCHID	O	このバッチの金融機関 ID。このパラメーターを使用することによりマーチャントは、ローカルな Batch オブジェクトを、金融機関のエンティティに関連付けることができる。これを指定した場合、その値は、CustomOffline Cassette による Batch オブジェクトの拡張の fiBatchId 値として保管される。指定しない場合、このフィールドは空のままになる。長さが 1 ~ 32 バイトの ASCII 文字ストリング。

Deposit

表 15. Deposit コマンドのキーワード

キーワード	必須 (R) / オプション (O)	値
BATCHNUMBER	O	バッチはすべて暗黙でオープンされるので、指定不可。

Refund

表 16. Refund コマンドのキーワード

キーワード	必須 (R) / オプション (O)	値
BATCHNUMBER	O	バッチはすべて暗黙でオープンされるので、指定不可。
\$AUTHCODE	O	承認されたクレジットと共に保管する与信コード。長さが 1 ~ 16 バイトの ASCII 文字ストリング。 \$AUTHCODE を指定する場合、CREDIT_APPROVED 状態のクレジットが作成され、ReferenceNumber は \$AUTHCODE の値に設定される。このパラメーターと \$DECLINEREASON のどちらも指定されていない場合、状態が CREDIT_APPROVED で ReferenceCode が空のクレジットが作成される。\$DECLINEREASON も指定されている場合、コマンドは PRC_INVALID_PARAMETER_COMBINATION、RC_CASSETTE_AUTHCODE_AND_DECLINEREASON のエラーになる。
\$DECLINEREASON	O	拒否されたクレジットと共に保管する拒否コード。長さが 1 ~ 256 バイトの ASCII 文字ストリング。 \$DECLINEREASON を指定する場合、CREDIT_DECLINED 状態のクレジットが作成され、declineReason フィールドは \$DECLINEREASON の値に設定される。\$AUTHCODE も指定されている場合、コマンドは PRC_INVALID_PARAMETER_COMBINATION、RC_CASSETTE_AUTHCODE_AND_DECLINEREASON のエラーになる。

サポートされているその他の金融コマンド

以下の金融コマンドは、オプション・パラメーターまたはプロトコル・データ・パラメーターなしでサポートされています。

- ApproveReversal は、決済の承認額を変更します。
- BatchPurge は、バッチをクリアし、Batch オブジェクトをオープン状態に戻します。
- CancelOrder は、オーダーをキャンセル状態にします。
- CloseOrder は、オーダーをクローズ状態にします。
- DepositReversal は、決済とバッチの関連付けを解除します。

- DeleteBatch は、指定したバッチを、データベース・テーブルから除去します。
- RefundReversal は、既存の Credit オブジェクトを取り消します。

サポートされていない金融コマンド

下記に示す金融コマンドはサポートされていません。1 次戻りコードおよび 2 次戻りコードとして、常に PRC_COMMAND_NOT_SUPPORTED および RC_NONE が戻されます。

- BatchOpen
- ReceivePayment

管理コマンド

CreateAccount

表 17. CreateAccount コマンドのキーワード

キーワード	必須 (R) / オプション (O)	値
\$METHOD	R	手動支払いメソッドを示す。長さが 1 ~ 32 バイトの ASCII 文字ストリング。1 つのマーチャント内の各アカウントごとに、メソッド値は固有でなければならない。
\$BATHCLOSETIME	O	このパラメーターには、オープンされているバッチをカセットが自動的にクローズする時刻を指定する。指定しない場合、すべてのバッチは、BatchClose コマンドを使用して明示的にクローズしなければならない。この値は、深夜 0 時からの経過分数を表す整数として指定する。0 は深夜 0 時を表す。有効な値は 0 <= time <= 1439

ModifyAccount

表 18. ModifyAccount コマンドのキーワード

キーワード	必須 (R) / オプション (O)	値
\$BATHCLOSETIME	R	このパラメーターには、オープンされているバッチをカセットが自動的にクローズする時刻を指定する。指定しない場合、すべてのバッチは、BatchClose コマンドを使用して明示的にクローズしなければならない。この値は、深夜 0 時からの経過分数を表す整数として指定する。0 は深夜 0 時を表す。有効な値は 0 <= time <= 1439

サポートされているその他の管理コマンド

以下の管理コマンドは、オプション・パラメーターまたはプロトコル・データ・パラメーターなしでサポートされています。

- `CassetteControl`
- `CreatePaySystem`
- `DeleteAccount`
- `DeletePaySystem`
- `ModifyCassette`
- `ModifyPaySystem`

サポートされていない管理コマンド

下記に示す管理コマンドはサポートされていません。1次戻りコードおよび2次戻りコードとして、常に `PRC_COMMAND_NOT_SUPPORTED` と `RC_NONE` が戻されます。

- `CreateMerchantCassetteObject`
- `CreateSystemCassetteObject`
- `DeleteMerchantCassetteObject`
- `DeleteSystemCassetteObject`
- `ModifyMerchantCassetteObject`
- `ModifySystemCassetteObject`

第 7 章 オブジェクト・リファレンス

CustomOffline Cassette オブジェクト・モデルは、 WebSphere Commerce Payments の汎用モデルを忠実に反映しています。ここでは、金融オブジェクトと管理オブジェクトについて、およびさまざまなフレームワーク・オブジェクトに対するそのカセット拡張について説明します。

金融オブジェクト

CustomOffline Cassette 金融オブジェクト・モデルは汎用モデルを反映するものとなっており、 CustomOfflineCassette オブジェクトは各汎用金融オブジェクトを補強するものとして定義されています。 CustomOffline Cassette のオブジェクトは、汎用オブジェクトを拡張するものです。その拡張機能は、次のとおりです。

Order

表 19. Order オブジェクト・カセットのプロパティ

フィールド名	構文	説明
auxiliary1	バイナリー・ストリング、長さ 0 ~ 254 文字。	マーチャントの指定する決済データ。このフィールドの内容は、マーチャント・ソフトウェアによってのみ識別される。
auxiliary2	バイナリー・ストリング、長さ 0 ~ 254 文字。	マーチャントの指定する決済データ。このフィールドの内容は、マーチャント・ソフトウェアによってのみ識別される。
country	文字ストリング、長さ 1 ~ 50 バイト	カード所有者が居住する国の ISO 3166 国コード、または国名。この値が表示されるのは、ACCEPTPAYMENT コマンドに非ヌルの \$COUNTRYCODE 値が指定された場合のみ。
street	文字ストリング、長さ 1 ~ 128 バイト。	カード所有者の番地。この値が存在するのは、ACCEPTPAYMENT コマンドにヌル以外の \$STREETADDRESS 値が指定された場合のみ。
city	文字ストリング、長さ 1 ~ 50 バイト。	カード所有者が居住する市町村。この値が表示されるのは、ACCEPTPAYMENT コマンドに非ヌルの \$CITY 値が指定された場合のみ。
state	文字ストリング、長さ 1 ~ 50 バイト。	カード所有者が居住する都道府県。この値が存在するのは、ACCEPTPAYMENT コマンドにヌル以外の \$STATEPROVINCE 値が指定された場合のみ。
postalCode	文字ストリング、長さ 1 ~ 14 バイト。	カード所有者の郵便番号。この値が表示されるのは、ACCEPTPAYMENT コマンドに非ヌルの \$POSTALCODE 値が指定された場合のみ。

Payment

表 20. *Payment* オブジェクト・カセットのプロパティ

フィールド名	構文	説明
authReason	文字ストリング、長さ 1 ~ 254 バイト	approve コマンドの \$AUTHCODE パラメーターによって入力される与信コード。このフィールドが存在するのは、この承認済み決済について authCode の値が存在する場合のみ。
declineReason	文字ストリング、長さ 1 ~ 254 バイト	approve コマンドの \$DECLINEREASON パラメーターによって入力される拒否コード。このフィールドが存在するのは、この拒否済み決済について declineReason の値が存在する場合のみ。

Credit

表 21. *Credit* オブジェクト・カセットのプロパティ

フィールド名	構文	説明
authReason	文字ストリング、長さ 1 ~ 254 バイト	Refund コマンドの \$AUTHCODE パラメーターによって入力される与信コード。このフィールドが存在するのは、このクレジットについて authCode の値が存在する場合のみ。
declineReason	文字ストリング、長さ 1 ~ 254 バイト	Refund コマンドの \$DECLINEREASON パラメーターによって入力される拒否コード。このフィールドが存在するのは、このリファンドについて declineReason の値が存在する場合のみ。

Batch

表 22. *Batch* オブジェクト・カセットのプロパティ

フィールド名	構文	説明
FIBatchID	文字ストリング、長さ 1 ~ 32 バイト。	BatchClose コマンドの \$FIBATCHID パラメーターによって入力された、このバッチの金融機関の ID。マーチャントがこのバッチに関して金融機関に問い合わせる場合には、この ID を使用する必要がある。

管理オブジェクト

CustomOffline では、フレームワーク管理オブジェクトの 1 つである AccountAdmin オブジェクトが拡張されています。各マーチャントについてサポートされているアカウントは 1 つのみです。CustomOffline によるアカウントの拡張は、汎用オブジェクトを拡張するものです。

その拡張機能は、次のとおりです。

Account

CustomOffline によるアカウントの拡張は、汎用オブジェクトを拡張するものです。その拡張機能は、次のとおりです。

表 23. Account オブジェクト・カセットのプロパティ

フィールド名	構文	説明
method	文字ストリング、長さ 1 ~ 32 バイト。	手動支払いメソッド。たとえば、"COD"、"BillMe"、その他のマーチャント定義のメソッド。この値は常に存在する。
batchCloseTime	深夜 0 時からの経過分 数を表す整数値。	現在オープンされているバッチをクローズする時刻。この値が存在するのは、これがアカウント構成で指定された場合のみ。

第 8 章 CustomOffline Cassette の戻りコード

CustomOffline の戻りコードは、次のとおりです。

2 次戻りコード	値	説明
RC_BUNDLE_ID_MISMATCH	20001	CustomOffline Cassette のカセット・リソース・バンドル ID が一致していません。
RC_ACCOUNT_SELECT_SQL_FAILURE	21000	CustomOfflineAccount テーブルの参照中に SQL 例外が発生しました。
RC_ACCOUNT_SELECT_CLOSE_FAILURE	21001	CustomOfflineAccount テーブルに対するクエリー・セッションをクローズしようとして、SQL 例外が発生しました。
RC_ACCOUNT_CREATE_ROW_FAILURE	21002	CustomOfflineAccount テーブルに行を追加しようとして、SQL 例外が発生しました。
RC_ACCOUNT_CREATE_SQL_FAILURE	21003	CustomOfflineAccount テーブルに行を挿入しようとして、SQL 例外が発生しました。
RC_ACCOUNT_UPDATE_ROW_FAILURE	21004	CustomOfflineAccount テーブルの行を更新しようとして、SQL 例外が発生しました。
RC_ACCOUNT_UPDATE_SQL_FAILURE	21005	CustomOfflineAccount テーブルの更新中に SQL 例外が発生しました。
RC_ACCOUNT_DELETE_ROW_FAILURE	21006	CustomOfflineAccount テーブルから行を削除しようとして、SQL 例外が発生しました。
RC_ACCOUNT_DELETE_SQL_FAILURE	21007	CustomOffline アカウント・テーブルの削除中に SQL 例外が発生しました。
RC_ACCOUNT_NULL_BATCH_NUMBER	21009	バッチ番号が空の取引のバッチを検索しようとして、SQL 例外が発生しました。
RC_BATCH_SELECT_SQL_FAILURE	22002	CustomOfflineBatch テーブルの参照中に SQL 例外が発生しました。
RC_BATCH_SELECT_CLOSE_FAILURE	22003	CustomOfflineBatch テーブルのクエリー・セッションをクローズしようとして、SQL 例外が発生しました。
RC_BATCH_CREATE_SQL_FAILURE	22005	CustomOfflineBatch テーブルに行を挿入しようとして、SQL 例外が発生しました。
RC_BATCH_UPDATE_ROW_FAILURE	22006	CustomOfflineBatch テーブルの行を更新しようとして、SQL 例外が発生しました。
RC_BATCH_UPDATE_SQL_FAILURE	22007	CustomOfflineBatch テーブルの更新中に SQL 例外が発生しました。
RC_BATCH_DELETE_ROW_FAILURE	22008	CustomOfflineBatch テーブルから行を削除しようとして、SQL 例外が発生しました。
RC_BATCH_DELETE_SQL_FAILURE	22009	CustomOfflineBatch テーブルから複数行を削除しようとして、SQL 例外が発生しました。
RC_BATCH_NULL_ORDER_FOR_PAYMENT	22010	決済のオーダーを NULL にすることはできません。

2 次戻りコード	値	説明
RC_BATCH_NULL_PAYMENT	22011	バッチの中で Payment オブジェクトが空であってはなりません。
RC_BATCH_BAD_BATCH_IN_PAYMENT	22012	Payment オブジェクトの中で参照されているバッチ番号が、対応する Batch オブジェクトの番号と異なっています。
RC_BATCH_NULL_ORDER_FOR_CREDIT	22013	クレジットのオーダーを NULL にすることはできません。
RC_BATCH_NULL_CREDIT	22014	バッチの中で Credit オブジェクトが空であってはなりません。
RC_BATCH_BAD_BATCH_IN_CREDIT	22015	Credit オブジェクトの中で参照されているバッチ番号が、対応する Batch オブジェクトの番号と異なっています。
RC_BATCH_PURGE_INCOMPLETE	22016	バッチ除去操作が未完です。
RC_ORDER_SELECT_ORDER_MISSING	23001	オーダー検索の SQL クエリーが何も戻りませんでした。
RC_ORDER_SELECT_SQL_FAILURE	23002	オーダー検索の SQL クエリーが失敗しました。
RC_ORDER_SELECT_CLOSE_FAILURE	23003	オーダー・クエリー・セッションをクローズしようとして、SQL 例外が発生しました。
RC_ORDER_CREATE_ROW_FAILURE	23004	CustomOfflineOrder テーブルに行を挿入しようとして、SQL 例外が発生しました。
RC_ORDER_CREATE_SQL_FAILURE	23005	CustomOfflineOrder テーブルに複数行を挿入しようとして、SQL 例外が発生しました。
RC_ORDER_UPDATE_ROW_FAILURE	23006	CustomOfflineOrder テーブルの行を更新しようとして、SQL 例外が発生しました。
RC_ORDER_UPDATE_SQL_FAILURE	23007	CustomOfflineOrder テーブルの複数行を更新しようとして、SQL 例外が発生しました。
RC_ORDER_DELETE_ROW_FAILURE	23008	CustomOfflineOrder テーブルから行を削除しようとして、SQL 例外が発生しました。
RC_ORDER_DELETE_SQL_FAILURE	23009	CustomOfflineOrder テーブルから複数行を削除しようとして、SQL 例外が発生しました。
RC_PAYMENT_SELECT_ROW_FAILURE	24000	CustomOfflinePayment テーブルの行を参照しようとして、SQL 例外が発生しました。
RC_PAYMENT_SELECT_PAYMENT_MISSING	24001	CustomOfflinePayment テーブルの参照中にエラーが発生しました。
RC_PAYMENT_SELECT_SQL_FAILURE	24002	CustomOfflinePayment テーブルの参照中に SQL 例外が発生しました。
RC_PAYMENT_SELECT_CLOSE_FAILURE	24003	クエリー・セッションをクローズしようとして、SQL 例外が発生しました。
RC_PAYMENT_CREATE_ROW_FAILURE	24004	CustomOfflinePayment テーブルに行を挿入しようとして、SQL 例外が発生しました。
RC_PAYMENT_CREATE_SQL_FAILURE	24005	CustomOfflinePayment テーブルに複数行を挿入しようとして、SQL 例外が発生しました。
RC_PAYMENT_UPDATE_SQL_FAILURE	24007	CustomOfflinePayment テーブルの複数行を更新しようとして、SQL 例外が発生しました。

2 次戻りコード	値	説明
RC_PAYMENT_DELETE_SQL_FAILURE	24009	CustomOfflinePayment テーブルから複数行を削除しようとして、SQL 例外が発生しました。
RC_CREDIT_SELECT_CREDIT_MISSING	25001	CustomOfflineCredit テーブルの参照中にエラーが発生しました。
RC_CREDIT_SELECT_SQL_FAILURE	25002	CustomOfflineCredit テーブルの参照中に SQL 例外が発生しました。
RC_CREDIT_SELECT_CLOSE_FAILURE	25003	CustomOfflineCredit テーブルからのクエリー・セッションをクローズしようとして、SQL 例外が発生しました。
RC_CREDIT_CREATE_SQL_FAILURE	25005	CustomOfflineCredit テーブルに複数行を挿入しようとして、SQL 例外が発生しました。
RC_CREDIT_UPDATE_ROW_FAILURE	25006	CustomOfflineCredit テーブルの行を更新しようとして、SQL 例外が発生しました。
RC_CREDIT_UPDATE_SQL_FAILURE	25007	CustomOfflineCredit テーブルの複数行を更新しようとして、SQL 例外が発生しました。
RC_CREDIT_DELETE_ROW_FAILURE	25008	CustomOfflineCredit テーブルから行を削除しようとして、SQL 例外が発生しました。
RC_CREDIT_DELETE_SQL_FAILURE	25009	CustomOfflineCredit テーブルから複数行を削除しようとして、SQL 例外が発生しました。
RC_QUERY_ORD_SELECT_SQL_FAILURE	26000	CUSTOMORDERVIEW ビューの参照中に SQL 例外が発生しました。
RC_QUERY_PAY_SELECT_SQL_FAILURE	26001	CUSTOMPAYMENTVIEW ビューの参照中に SQL 例外が発生しました。
RC_QUERY_CRE_SELECT_SQL_FAILURE	26002	CUSTOMCREDITVIEW ビューの参照中に SQL 例外が発生しました。
RC_QUERY_BAT_SELECT_SQL_FAILURE	26003	CUSTOMBATCHVIEW ビューの参照中に SQL 例外が発生しました。
RC_QUERY_ACC_SELECT_SQL_FAILURE	26004	CUSTOMACCOUNTVIEW ビューの参照中に SQL 例外が発生しました。

第 9 章 CustomOffline Cassette のメッセージ

CustomOffline のエラー・メッセージは、次のとおりです。

CEPCustomOffline1000: The CustomOffline Cassette has started. (CustomOffline Cassette が開始しました。)

重大度: 通知

説明: カセットは現在要求を受け付けています。

ユーザーの処置: なし

CEPCustomOffline1001: The CustomOffline Cassette has stopped. (CustomOffline Cassette が停止しました。)

重大度: 通知

説明: カセットはもう要求を受け入れていません。

ユーザーの処置: なし

CEPCustomOffline1002: This method has not been implemented yet. The method is *method_name*. (このメソッドはまだ実装されていません。メソッド名: *method_name*)

重大度: エラー

説明: このメソッドが必要な場合には、このメソッドを利用できるかどうかについて開発元に問い合わせてください。あるいは、別のメソッドを使用してください。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline1003: The cassette's resource bundle ID does not match the ID passed by the framework. Expected ID is *expected_id* and framework ID is *framework_id*. (カセットのリソース・バンドル ID が、フレームワークから渡された ID と一致していません。予期される ID は *expected_id*、フレームワーク ID は *framework_id* です。)

重大度: エラー

説明: なし

ユーザーの処置: 考えられる理由については、ご使用のアプリケーションの開発者に問い合わせてください。

CEPCustomOffline2000: An SQL exception occurred while selecting existing accounts from the CUSTOMACCOUNT table. (CUSTOMACCOUNT テーブルから既存のアカウントを選択しようとして、SQL 例外が発生しました。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMACCOUNT テーブルへのアクセス中に、SQL 例外が発生しました。これは、データベースへの接続またはアクセス時のエラーか、またはデータ内容におけるエラーが原因である可能性があります。

ユーザーの処置: データベースへの接続をチェックし、WebSphere Commerce Payments マシンとデータベース・サーバーとの間の通信に問題がないことを確かめてください。

CEPCustomOffline2001: An SQL exception occurred while closing a query on the CUSTOMACCOUNT table. (CUSTOMACCOUNT テーブルに対するクエリーをクローズしようとして、SQL 例外が発生しました。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMACCOUNT テーブルをクローズしようとして、SQL 例外が発生しました。SQL 例外テキストは例外を記述し、XOPEN SQL の指定で参照できる SQL 状態情報を提供します。これは WebSphere Commerce Payments とデータベース・サーバーとの間の通信における障害、またはテーブルの定義と WebSphere Commerce Payments が予期する定義との間の矛盾の結果である可能性があります。

ユーザーの処置: 問題についての詳細は、SQL 状態情報を参照してください。データベース・サーバーの接続をテストして、テーブル定義が、WebSphere Commerce Payments の所定の定義と一致することを確認してください。

CEPCustomOffline2003: An SQL exception occurred while inserting a row into the CUSTOMACCOUNT table. The merchant number is *merchant_number*, the Account number is *account_number*, and the number of rows affected is *rows*. (CUSTOMACCOUNT テーブルに行を挿入しようとして、SQL 例外が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、アカウント番号は *account_number*、および関係する行数は *rows* です。)

重大度: 通知

説明: この挿入操作では 1 行の挿入しかサポートされていませんが、複数の行が挿入されました。これは本来発生するはずのない状態ですが、実際に発生したのであれば、サポート担当者に連絡してください。

ユーザーの処置: なし

CEPCustomOffline2004: An SQL exception occurred while inserting an account into the CUSTOMACCOUNT table. The merchant number is *merchant_number*, and account number is *account_number*. (CUSTOMACCOUNT テーブルにアカウントを挿入しようとして、SQL 例外が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、アカウント番号は *account_number* です。)

重大度: 通知

説明: CUSTOMACCOUNT テーブルに行を挿入しようとして、SQL 例外が発生しました。SQL 例外テキストは例外を記述し、XOPEN SQL の指定で参照できる SQL 状態情報を提供します。これは WebSphere Commerce Payments とデータベース・サーバーとの間の通信における障害、またはテーブルの定義と WebSphere Commerce Payments が予期する定義との間の矛盾の結果である可能性があります。

ユーザーの処置: データベースへの接続をチェックし、WebSphere Commerce Payments マシンとデータベース・サーバーとの間の通信に問題がないことを確かめてください。さらに、WebSphere Commerce Payments データベースへのアクセス権がデータベース・ユーザーに付与されていることを確認してください。

CEPCustomOffline2005: An SQL update should have changed only one row but multiple rows were affected. The merchant number is *merchant_number*, the account number is *account_number*, and number of rows affected are *number*. (SQL 更新では 1 行だけが変更されるはずでしたが、複数行に影響がありました。マーチャント番号は *merchant_number*、アカウント番号は *account_number*、および影響を受けた行数は *number* です。)

重大度: 通知

説明: 更新操作で変更されるのは 1 行のはずですが、実際には複数行に影響を受けました。

ユーザーの処置: なし

CEPCustomOffline2006: An SQL exception occurred while updating an existing account in the CUSTOMACCOUNT table. The merchant number is *merchant_number*, and account number is *account_number*. (CUSTOMACCOUNT テーブルの既存のアカウントを更新しようとして、SQL 例外が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、アカウント番号は *account_number* です。)

重大度: エラー

説明: WebSphere Commerce Payments データベース・テーブルを読み取り中に、SQL 例外が発生しました。SQL 例外テキストは例外を記述し、XOPEN SQL の指定で参照できる SQL 状態情報を提供します。これは WebSphere Commerce Payments とデータベース・サーバーとの間の通信における障害、またはテーブルの定義と WebSphere Commerce Payments が予期する定義との間の矛盾の結果である可能性があります。

ユーザーの処置: 問題についての詳細は、SQL 状態情報を参照してください。データベース・サーバーの接続をテストして、テーブル定義が、WebSphere Commerce Payments の所定の定義と一致することを確認してください。

CEPCustomOffline2007: An SQL exception occurred while deleting a row from the CUSTOMACCOUNT table. The merchant number is *merchant_number*, the Account number is *account_number*, and the number of rows affected is *rows*. (CUSTOMACCOUNT テーブルから行を削除しようとして、SQL 例外が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、アカウント番号は *account_number*、および関係する行数は *rows* です。)

重大度: エラー

説明: 削除操作では 1 行の削除しかサポートされてい

ませんが、複数の行が削除されました。これは本来発生するはずのない状態ですが、実際に発生したのであれば、サポート担当者に連絡してください。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline2008: An SQL exception occurred while deleting an account from the CUSTOMACCOUNT table. The associated merchant number is *merchant_number* and account number is *account_number*. (CUSTOMACCOUNT テーブルからアカウントを削除しようとして、SQL 例外が発生しました。対応するマーチャント番号は *merchant_number*、アカウント番号は *account_number* です。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMACCOUNT テーブルに行を挿入しようとして、SQL 例外が発生しました。SQL 例外テキストは例外を記述し、XOPEN SQL の指定で参照できる SQL 状態情報を提供します。これは WebSphere Commerce Payments とデータベース・サーバーとの間の通信における障害、またはテーブルの定義と WebSphere Commerce Payments が予期する定義との間の矛盾の結果である可能性があります。

ユーザーの処置: データベースへの接続をチェックし、WebSphere Commerce Payments マシンとデータベース・サーバーとの間の通信に問題がないことを確かめてください。さらに、WebSphere Commerce Payments データベースへのアクセス権がデータベース・ユーザーに付与されていることを確認してください。

CEPCustomOffline2009: Unable to close connection on port *port number* to the CustomOffline CashRegister at *hostname*. (ポート *port number* からホスト名 *hostname* の CustomOffline CashRegister への接続をクローズできませんでした。)

重大度: エラー

説明: カセットと CustomOffline CashRegister との通信を実行するソケット接続が、正常にクローズされませんでした。

ユーザーの処置: 問題が続く場合、IBM 技術員にエラーを報告してください。

CEPCustomOffline2010: An attempt to retrieve a batch failed because the transaction did not contain a batch number. The merchant number is *merchant_number*, the account number is *account_number*, the order number is *order_number*, and transaction number is *transaction_number*. (取引にバッチ番号が含まれていなかったため、バッチ検索が失敗しました。マーチャント番号は *merchant_number*、アカウント番号は *account_number*、オーダー番号は *order_number*、および取引番号は *transaction_number* です。)

重大度: エラー

説明: 要求の中で使用されている取引が無効です。実動システムでは、発生しないことが期待されています。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline3000: An SQL query of CUSTOMBATCH table returned incorrect result. (CUSTOMBATCH テーブルの SQL クエリーから戻された結果が不正です。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMBATCH テーブルの SQL クエリーから戻される行は 1 行のはずですが、複数行が戻されました。マーチャント番号は *merchant_number*、バッチ番号は *number* です。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline3001: An SQL query of CUSTOMBATCH table returned incorrect result. (CUSTOMBATCH テーブルの SQL クエリーから戻された結果が不正です。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMBATCH テーブルの SQL クエリーから戻される行は 1 行のはずですが、複数行が戻されました。マーチャント番号は *merchant_number*、バッチ番号は *number* です。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline3002: An SQL exception occurred while querying a batch from the CUSTOMBATCH table. The merchant number is *merchant_number* and batch number is *number*. (CUSTOMBATCH テーブルのバッチを参照しようとして、SQL 例外が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、バッチ番号は *number* です。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMBATCH テーブルを読み取り中に SQL 例外が発生しました。SQL 例外テキストは例外を記述し、XOPEN SQL の指定で参照できる SQL 状態情報を提供します。これは WebSphere Commerce Payments とデータベース・サーバーとの間の通信における障害、またはテーブルの定義と WebSphere Commerce Payments が予期する定義との間の矛盾の結果である可能性があります。

ユーザーの処置: 問題についての詳細は、SQL 状態情報を参照してください。データベース・サーバーの接続をテストして、テーブル定義が、WebSphere Commerce Payments の所定の定義と一致することを確認してください。

CEPCustomOffline3003: An SQL exception occurred while closing a query operation from the CUSTOMBATCH table. (CUSTOMBATCH テーブルからのクエリー操作をクローズしようとして、SQL 例外が発生しました。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMBATCH テーブル・クエリーをクローズしようとして、SQL 例外が発生しました。SQL 例外テキストは例外を記述し、XOPEN SQL の指定で参照できる SQL 状態情報を提供します。これは WebSphere Commerce Payments とデータベース・サーバーとの間の通信における障害、またはテーブルの定義と WebSphere Commerce Payments が予期する定義との間の矛盾の結果である可能性があります。

ユーザーの処置: 問題についての詳細は、SQL 状態情報を参照してください。データベース・サーバーの接続をテストして、テーブル定義が、WebSphere Commerce Payments の所定の定義と一致することを確認してください。

CEPCustomOffline3004: An SQL exception occurred while inserting a row into the CUSTOMBATCH table. The merchant number is *merchant_number*, the batch number is *batch_number*, and the number of rows affected is *rows*. (CUSTOMBATCH テーブルに行を挿入しようとして、SQL 例外が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、バッチ番号は *batch_number*、および関係する行数は *rows* です。)

重大度: エラー

説明: この挿入操作では 1 行の挿入しかサポートされていませんが、複数の行が挿入されました。これは本来発生するはずのない状態ですが、実際に発生したのであれば、サポート担当者に連絡してください。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline3005: An SQL exception occurred while updating an existing account in the CUSTOMBATCH table. The merchant number is *merchant_number* and batch number is *batch_number*. (CUSTOMBATCH テーブルの既存のアカウントを更新しようとして、SQL 例外が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、バッチ番号は *batch_number* です。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMBATCH テーブルに挿入しようとして、SQL 例外が発生しました。SQL 例外テキストは例外を記述し、XOPEN SQL の指定で参照できる SQL 状態情報を提供します。これは WebSphere Commerce Payments とデータベース・サーバーとの間の通信における障害、またはテーブルの定義と WebSphere Commerce Payments が予期する定義との間の矛盾の結果である可能性があります。

ユーザーの処置: 問題についての詳細は、SQL 状態情報を参照してください。データベース・サーバーの接続をテストして、テーブル定義が、WebSphere Commerce Payments の所定の定義と一致することを確認してください。

CEPCustomOffline3006: An SQL exception occurred while updating a row from the CUSTOMBATCH table. The merchant number is *merchant_number*, the batch number is *batch_number*, and the number of rows affected is *rows*. (CUSTOMBATCH テーブルの行を更新しようとして、SQL 例外が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、バッチ番号は *batch_number*、および関係する行数は *rows* です。)

重大度: エラー

説明: 更新操作では 1 行の更新しかサポートされていませんが、複数の行が更新されました。これは本来発生するはずのない状態ですが、実際に発生したのであれば、サポート担当者に連絡してください。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline3007: An SQL exception occurred while updating an existing batch in the CUSTOMBATCH table. The merchant number is *merchant_number* and the batch number is *batch_number*. (CUSTOMBATCH テーブルの既存のバッチを更新しようとして、SQL 例外が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、バッチ番号は *batch_number* です。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMBATCH テーブルを読み取り中に SQL 例外が発生しました。SQL 例外テキストは例外を記述し、XOPEN SQL の指定で参照できる SQL 状態情報を提供します。これは WebSphere Commerce Payments とデータベース・サーバーとの間の通信における障害、またはテーブルの定義と WebSphere Commerce Payments が予期する定義との間の矛盾の結果である可能性があります。

ユーザーの処置: 問題についての詳細は、SQL 状態情報を参照してください。データベース・サーバーの接続をテストして、テーブル定義が、WebSphere Commerce Payments の所定の定義と一致することを確認してください。

CEPCustomOffline3008: An SQL exception occurred while deleting a batch from the CUSTOMBATCH table. The merchant number is *merchant_number* batch number is *number* and number of rows affected is *rows*. (CUSTOMBATCH テーブルからバッチを削除しようとして、SQL 例外が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、バッチ番号は *batch_number*、および関係する行数は *rows* です。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMBATCH テーブルの SQL 削除から戻される行は 1 行のはずですが、複数行が戻されました。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline3009: An SQL exception occurred while deleting a batch from the CUSTOMBATCH table. The merchant number is *merchant_number* and batch number is *number*. (CUSTOMBATCH テーブルからバッチを削除しようとして、SQL 例外が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、バッチ番号は *number* です。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMBATCH テーブルを読み取り中に SQL 例外が発生しました。SQL 例外テキストは例外を記述し、XOPEN SQL の指定で参照できる SQL 状態情報を提供します。これは WebSphere Commerce Payments とデータベース・サーバーとの間の通信における障害、またはテーブルの定義と WebSphere Commerce Payments が予期する定義との間の矛盾の結果である可能性があります。

ユーザーの処置: 問題についての詳細は、SQL 状態情報を参照してください。データベース・サーバーの接続をテストして、テーブル定義が、WebSphere Commerce Payments の所定の定義と一致することを確認してください。

CEPCustomOffline3010: The Supervisor could not retrieve an order referenced by the framework's batch payment list. The merchant number is *merchant_number*, the batch number is *batch_number*, the order number is *order_number*, and payment number is *payment_number*. (スーパーバイザーは、フレームワークのバッチ決済リストで参照されているオーダーを検索できませんでした。マーチャント番号は *merchant_number*、バッチ番号は *batch_number*、オーダー番号は *order_number*、および決済番号は *payment_number* です。)

重大度: エラー

説明: これは、要求の処理における健全性の検査です。実際にユーザーがこれを見ることはないかもしれません。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline3011: Supervisor could not retrieve a payment referenced by the framework's batch payment list. The merchant number is *merchant_number*, the batch number is *batch_number*, the order number is *order_number*, and the payment number is *payment_number*. (スーパーバイザーは、フレームワークのバッチ決済リストで参照されている決済を検索できませんでした。マーチャント番号は *merchant_number*、バッチ番号は *batch_number*、オーダー番号は *order_number*、および決済番号は *payment_number* です。)

重大度: エラー

説明: これは、以降の処理が失敗しないようにするための内部テストです。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline3012: The batch number referenced by a payment does not match the batch number of the batch that contains the payment. The merchant number is *merchant_number*, the batch number is *batch_number*, the order number is *order_number*, and the payment number is *merchant_number*. (決済で参照されているバッチ番号が、その決済を含むバッチのバッチ番号と一致していません。マーチャント番号は *merchant_number*、バッチ番号は *batch_number*、オーダー番号は *order_number*、および決済番号は *merchant_number* です。)

重大度: エラー

説明: これは、以降の処理が失敗しないようにするための内部テストです。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline3013: The Supervisor could not retrieve an order referenced by the framework's batch credit list. The merchant number is *merchant_number*, the batch number is *batch_number*, the order number is *order_number*, and the credit number is *credit_number*. (スーパーバイザーは、フレームワークのバッチ・クレジット・リストで参照されているオーダーを検索できませんでした。マーチャント番号は *merchant_number*、バッチ番号は *batch_number*、オーダー番号は *order_number*、およびクレジット番号は *credit_number* です。)

重大度: エラー

説明: これは、以降の処理が失敗しないようにするための内部テストです。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline3014: The Supervisor could not retrieve a credit referenced by the framework's batch credit list. The merchant number is *merchant_number*, the batch number is *batch_number*, the order number is *order_number*, and the credit number is *credit_number*. (スーパーバイザーは、フレームワークのバッチ・クレジット・リストで参照されているクレジットを検索できませんでした。マーチャント番号は *merchant_number*、バッチ番号は *batch_number*、オーダー番号は *order_number*、およびクレジット番号は *credit_number* です。)

重大度: エラー

説明: これは、以降の処理が失敗しないようにするための内部テストです。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline3015: The batch number referenced by a credit does not match the batch number of the batch that contains the credit. The merchant number is *merchant_number*, the batch number is *batch_number*, the order number is *order_number*, and the credit number is *credit_number*. (クレジットで参照されているバッチ番号が、そのクレジットを含むバッチのバッチ番号と一致していません。マーチャント番号は *merchant_number*、バッチ番号は *batch_number*、オーダー番号は *order_number*、およびクレジット番号は *credit_number* です。)

重大度: エラー

説明: これは、以降の処理が失敗しないようにするための内部テストです。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline3016: While performing a batch purge, the DepositReversal failed. Even though this payment has not been successfully purged, purging will continue. The merchant number is *merchant_number*, the batch number is *batch_number*, the order number is *order_number*, the payment number is *payment_number*, the primary return code is *prc*, and the secondary return code is *src*. (バッチ除去を実行中に **DepositReversal** が失敗しました。この決済は正常に除去されませんでしたが、除去処理は継続されます。マーチャント番号は *merchant_number*、バッチ番号は *batch_number*、オーダー番号は *order_number*、決済番号は *payment_number*、1 次戻りコードは *prc*、および 2 次戻りコードは *src* です。)

重大度: 警告

説明: これは、以降の処理が失敗しないようにするための内部テストです。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline3017: While performing a batch purge, the Supervisor failed to retrieve this payment. Even though this payment has not been successfully purged, purging will continue. The merchant number is *merchant_number*, the batch number is *batch_number*, the order number is *order_number*, the payment number is *payment_number*, the primary return code is *prc*, and the secondary return code is *src*. (バッチ除去を実行中に、スーパーバイザーがこの決済の検索に失敗しました。この決済は正常に除去されませんでしたが、除去処理は継続されます。マーチャント番号は *merchant_number*、バッチ番号は *batch_number*、オーダー番号は *order_number*、決済番号は *payment_number*、1 次戻りコードは *prc*、および 2 次戻りコードは *src* です。)

重大度: 警告

説明: これは、以降の処理が失敗しないようにするための内部テストです。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline3018: While performing a batch purge, a RefundReversal failed. Even though this credit has not been successfully purged, purging will continue. The merchant number is *merchant_number*, the batch number is *batch_number*, the order number is *order_number*, the credit number is *credit_number*, the primary return code is *prc*, and the secondary return code is *src*. (バッチ除去を実行中に **RefundReversal** が失敗しました。このクレジットは正常に除去されませんでしたが、除去処理は継続されます。マーチャント番号は *merchant_number*、バッチ番号は *batch_number*、オーダー番号は *order_number*、クレジット番号は *credit_number*、1 次戻りコードは *prc*、および 2 次戻りコードは *src* です。)

重大度: 警告

説明: これは、以降の処理が失敗しないようにするための内部テストです。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline3019: While performing a batch purge, the Supervisor failed to retrieve this credit. Even though this credit has not been successfully purged, purging will continue. The merchant number is *merchant_number*, the batch number is *batch_number*, the order number is *order_number*, the credit number is *credit_number*, the primary return code is *prc*, and the secondary return code is *src*. (バッチ除去を実行中に、スーパーバイザーがこのクレジットの検索に失敗しました。このクレジットは正常に除去されませんでした。除去処理は継続されます。マーチャント番号は *merchant_number*、バッチ番号は *batch_number*、オーダー番号は *order_number*、クレジット番号は *credit_number*、1 次戻りコードは *prc*、および 2 次戻りコードは *src* です。)

重大度: 警告

説明: これは、以降の処理が失敗しないようにするための内部テストです。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline4000: An assertion failure occurred while querying a row from the CUSTOMORDER table. The merchant number is *merchant_number* and the order number is *order_number*. (CUSTOMORDER テーブルの行を参照しようとして、アサーション障害が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、オーダー番号は *order_number* です。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMORDER テーブルの SQL クエリーから戻される行は 1 行のはずですが、複数行が戻されました。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline4001: An assertion failure occurred while querying a row from the CUSTOMORDER table. The merchant number is *merchant_number* and the order number is *order_number*. (CUSTOMORDER テーブルの行を参照しようとして、アサーション障害が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、オーダー番号は *order_number* です。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMORDER テーブルの SQL クエリーでは 1 行が戻されるはずですが、何も戻されませんでした。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline4002: An SQL exception occurred while querying an existing order from the CUSTOMORDER table. The merchant number is *merchant_number* and the order number is *order_number*. (CUSTOMORDER テーブルの既存のオーダーを参照しようとして、SQL 例外が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、オーダー番号は *order_number* です。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMORDER テーブルの参照中に SQL 例外が発生しました。SQL 例外テキストは例外を記述し、XOPEN SQL の指定で参照できる SQL 状態情報を提供します。これは WebSphere Commerce Payments とデータベース・サーバーとの間の通信における障害、またはテーブルの定義と WebSphere Commerce Payments が予期する定義との間の矛盾の結果である可能性があります。

ユーザーの処置: 問題についての詳細は、SQL 状態情報を参照してください。データベース・サーバーの接続をテストして、テーブル定義が、WebSphere Commerce Payments の所定の定義と一致することを確認してください。

CEPCustomOffline4003: An SQL exception occurred while closing a query order from the CUSTOMORDER table. (CUSTOMORDER テーブルからのクエリー・オーダーをクローズしようとして、SQL 例外が発生しました。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMORDER テーブルのクローズ中に SQL 例外が発生しました。SQL 例外テキストは例外を記述し、XOPEN SQL の指定で参照できる SQL 状態情報を提供します。これは WebSphere Commerce Payments とデータベース・サーバーとの間の通信における障害、またはテーブルの定義と WebSphere Commerce Payments が予期する定義との間の矛盾の結果である可能性があります。

ユーザーの処置: 問題についての詳細は、SQL 状態情報を参照してください。データベース・サーバーの接続をテストして、テーブル定義が、WebSphere Commerce Payments の所定の定義と一致することを確認してください。

CEPCustomOffline4004: An assertion failure occurred while inserting a row into the CUSTOMORDER table. The merchant number is *merchant_number*, the order number is *order_number*, and the number of rows affected is *rows*.

(CUSTOMORDER テーブルに行を挿入しようとして、アサーション障害が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、オーダー番号は *order_number*、および関係する行数は *rows* です。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMORDER テーブルの SQL 挿入で挿入される行は 1 行のではありませんが、複数行が影響を受けました。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline4005: An SQL exception occurred while inserting a new order into the CUSTOMORDER table. The merchant number is *merchant_number* and the order number is *order_number*. (CUSTOMORDER テーブルに新しいオーダーを挿入しようとして、SQL 例外が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、オーダー番号は *order_number* です。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMORDER テーブルに挿入しようとして、SQL 例外が発生しました。SQL 例外テキストは例外を記述し、XOPEN SQL の指定で参照できる SQL 状態情報を提供します。これは WebSphere Commerce Payments とデータベース・サーバーとの間の通信における障害、またはテーブルの定義と WebSphere Commerce Payments が予期する定義との間の矛盾の結果である可能性があります。

ユーザーの処置: 問題についての詳細は、SQL 状態情報を参照してください。データベース・サーバーの接続をテストして、テーブル定義が、WebSphere Commerce Payments の所定の定義と一致することを確認してください。

CEPCustomOffline4006: An assertion failure occurred while updating the CUSTOMORDER table. The merchant number is *merchant_number*, the order number is *order_number*, and the number of rows affected is *rows*. (CUSTOMORDER テーブルを更新しようとして、アサーション障害が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、オーダー番号は *order_number*、および関係する行数は *rows* です。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMORDER テーブルの SQL 更新で更新される行は 1 行のではありませんが、複数行が影響を受けました。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline4007: An SQL exception occurred while updating an existing order in the CUSTOMORDER table. The merchant number is *merchant_number* and the order number is *order_number*. (CUSTOMORDER テーブルの既存のオーダーを更新しようとして、SQL 例外が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、オーダー番号は *order_number* です。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMORDER テーブルの更新中に SQL 例外が発生しました。SQL 例外テキストは例外を記述し、XOPEN SQL の指定で参照できる SQL 状態情報を提供します。これは WebSphere Commerce Payments とデータベース・サーバーとの間の通信における障害、またはテーブルの定義と WebSphere Commerce Payments が予期する定義との間の矛盾の結果である可能性があります。

ユーザーの処置: 問題についての詳細は、SQL 状態情報を参照してください。データベース・サーバーの接続をテストして、テーブル定義が、WebSphere Commerce Payments の所定の定義と一致することを確認してください。

CEPCustomOffline4008: An assertion failure occurred while removing a row from the CUSTOMORDER table. The merchant number is *merchant_number*, the order number is *order_number*, and the number of rows affected is *rows*. (CUSTOMORDER テーブルから行を削除しようとして、アサーション障害が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、オーダー番号は *order_number*、および関係する行数は *rows* です。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMORDER テーブルの SQL 削除で削除される行は 1 行のはずですが、複数行が影響を受けました。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline4009: An SQL exception occurred while deleting an order from the CUSTOMORDER table. The merchant number is *merchant_number* and the order number is *order_number*. (CUSTOMORDER テーブルからオーダーを削除しようとして、SQL 例外が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、オーダー番号は *order_number* です。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMORDER テーブルからオーダーを削除しようとして、SQL 例外が発生しました。SQL 例外テキストは例外を記述し、XOPEN SQL の指定で参照できる SQL 状態情報を提供します。これは WebSphere Commerce Payments とデータベース・サーバーとの間の通信における障害、またはテーブルの定義と WebSphere Commerce Payments が予期する定義との間の矛盾の結果である可能性があります。

ユーザーの処置: 問題についての詳細は、SQL 状態情報を参照してください。データベース・サーバーの接続をテストして、テーブル定義が、WebSphere Commerce Payments の所定の定義と一致することを確認してください。

CEPCustomOffline4010: An assertion failure occurred while closing the CUSTOMORDER table. The merchant number is *merchant_number*, the order number is *order_number*, the batch number is *batch_number*, the payment number is *payment_number*, and the actual order state is *order_state*. (CUSTOMORDER テーブルをクローズしようとして、アサーション障害が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、オーダー番号は *order_number*、バッチ番号は *batch_number*、決済番号は *payment_number*、および実際のオーダーの状態は *order_state* です。)

重大度: エラー

説明: バッチのクローズ中に、オーダーが不正な状態になっている決済がそのバッチに含まれていることが明らかになりました。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline4011: An assertion failure occurred while closing a batch. The merchant number is *merchant_number*, the order number is *order_number*, the batch number is *batch_number*, the credit number is *credit_number*, and the actual order state is *order_state*. (バッチをクローズしようとして、アサーション障害が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、オーダー番号は *order_number*、バッチ番号は *batch_number*、クレジット番号は *credit_number*、および実際のオーダーの状態は *order_state* です。)

重大度: エラー

説明: バッチのクローズ中に、オーダーが不正な状態になっているクレジットがそのバッチに含まれていることが明らかになりました。

ユーザーの処置: 状態を修正してから、もう一度バッチをクローズしてください。

CEPCustomOffline5000: An assertion failure occurred while querying the CUSTOMPAYMENT table. The merchant number is *merchant_number*, the order number is *order_number*, and the payment number is *payment_number*. (CUSTOMPAYMENT テーブルを参照しようとして、アサーション障害が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、オーダー番号は *order_number*、および決済番号は *payment_number* です。)

重大度: エラー

説明: 決済の参照中に、複数のエントリが戻されまし

た。これは、発生しないはずの条件です。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline5001: An assertion failure occurred while querying the CUSTOMPAYMENT table. The merchant number is *merchant_number*, the order number is *order_number*, and the payment number is *payment_number*. (CUSTOMPAYMENT テーブルを参照しようとして、アサーション障害が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、オーダー番号は *order_number*、および決済番号は *payment_number* です。)

重大度: エラー

説明: 決済の参照では 1 行が戻されるはずですが、何も戻されませんでした。これは、発生しないはずの条件です。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline5002: An SQL exception occurred while querying from the CUSTOMPAYMENT table. The merchant number is *merchant_number*, the order number is *order_number*, and the payment number is *payment_number*. (CUSTOMPAYMENT テーブルを参照しようとして、SQL 例外が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、オーダー番号は *order_number*、および決済番号は *payment_number* です。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMPAYMENT テーブルの参照中に SQL 例外が発生しました。SQL 例外テキストは例外を記述し、XOPEN SQL の指定で参照できる SQL 状態情報を提供します。これは WebSphere Commerce Payments とデータベース・サーバーとの間の通信における障害、またはテーブルの定義と WebSphere Commerce Payments が予期する定義との間の矛盾の結果である可能性があります。

ユーザーの処置: 問題についての詳細は、SQL 状態情報を参照してください。データベース・サーバーの接続をテストして、テーブル定義が、WebSphere Commerce Payments の所定の定義と一致することを確認してください。

CEPCustomOffline5003: An SQL exception occurred while closing a query operation from the CUSTOMPAYMENT table. (CUSTOMPAYMENT テーブルからのクエリー操作をクローズしようとして、SQL 例外が発生しました。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMPAYMENT テーブル・クエリーをクローズしようとして、SQL 例外が発生しました。SQL 例外テキストは例外を記述し、XOPEN SQL の指定で参照できる SQL 状態情報を提供します。これは WebSphere Commerce Payments とデータベース・サーバーとの間の通信における障害、またはテーブルの定義と WebSphere Commerce Payments が予期する定義との間の矛盾の結果である可能性があります。

ユーザーの処置: 問題についての詳細は、SQL 状態情報を参照してください。データベース・サーバーの接続をテストして、テーブル定義が、WebSphere Commerce Payments の所定の定義と一致することを確認してください。

CEPCustomOffline5004: An assertion failure occurred while inserting a row into the CUSTOMPAYMENT table. The merchant number is *merchant_number*, the order number is *order_number*, the payment number is *payment_number*, and the number of rows affected is *rows*. (CUSTOMPAYMENT テーブルに行を挿入しようとして、アサーション障害が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、オーダー番号は *order_number*、決済番号は *payment_number*、および関係する行数は *rows* です。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMPAYMENT テーブルへの SQL 挿入で挿入される行は 1 行のはずですが、複数行が影響を受けました。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline5005: An SQL exception occurred while inserting a new payment into the CUSTOMPAYMENT table. (CUSTOMPAYMENT テーブルに新しい決済を挿入しようとして、SQL 例外が発生しました。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMPAYMENT テーブルに新しい決済を挿入しようとして、SQL 例外が発生しました。SQL 例外テキストは例外を記述し、XOPEN SQL の指定で参照できる SQL 状態情報を提供します。これは WebSphere

Commerce Payments とデータベース・サーバーとの間の通信における障害、またはテーブルの定義と WebSphere Commerce Payments が予期する定義との間の矛盾の結果である可能性があります。

ユーザーの処置: 問題についての詳細は、SQL 状態情報を参照してください。データベース・サーバーの接続をテストして、テーブル定義が、WebSphere Commerce Payments の所定の定義と一致することを確認してください。

CEPCustomOffline5006: An assertion failure occurred while updating a row in the CUSTOMPAYMENT table. The merchant number is *merchant_number*, the order number is *order_number*, the payment number is *payment_number*, and the number of rows affected is *rows*.

(CUSTOMPAYMENT テーブルの行を更新しようとして、アサーション障害が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、オーダー番号は *order_number*、決済番号は *payment_number*、および関係する行数は *rows* です。)

重大度: エラー

説明: 決済の更新操作で影響を受けるのは 1 行のほうですが、複数の行が戻されました。これは、発生しないはずの条件です。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline5007: An SQL exception occurred while updating an existing payment in the CUSTOMPAYMENT table. The merchant number is *merchant_number*, the order number is *order_number*, and the payment number is *payment_number*. (CUSTOMPAYMENT テーブルの既存の決済を更新しようとして、SQL 例外が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、オーダー番号は *order_number*、および決済番号は *payment_number* です。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMPAYMENT テーブルの更新中に SQL 例外が発生しました。SQL 例外テキストは例外を記述し、XOPEN SQL の指定で参照できる SQL 状態情報を提供します。これは WebSphere Commerce Payments とデータベース・サーバーとの間の通信における障害、またはテーブルの定義と WebSphere Commerce Payments が予期する定義との間の矛盾の結果である可能性があります。

ユーザーの処置: 問題についての詳細は、SQL 状態情

報を参照してください。データベース・サーバーの接続をテストして、テーブル定義が、WebSphere Commerce Payments の所定の定義と一致することを確認してください。

CEPCustomOffline5008: An assertion failure occurred while deleting a row from the CUSTOMPAYMENT table. The merchant number is *merchant_number*, the order number is *order_number*, the payment number is *payment_number*, and the number of rows affected is *rows*.

(CUSTOMPAYMENT テーブルから行を削除しようとして、アサーション障害が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、オーダー番号は *order_number*、決済番号は *payment_number*、および関係する行数は *rows* です。)

重大度: エラー

説明: 決済の削除操作で影響を受けるのは 1 行のほうですが、複数の行が戻されました。これは、発生しないはずの条件です。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline5009: An SQL exception occurred while deleting a payment from the CUSTOMPAYMENT table. The merchant number is *merchant_number*, the order number is *order_number*, and the payment number is *payment_number*. (CUSTOMPAYMENT テーブルから決済を削除しようとして、SQL 例外が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、オーダー番号は *order_number*、および決済番号は *payment_number* です。)

重大度: エラー

説明: SQL 例外テキストは例外を記述し、XOPEN SQL の指定で参照できる SQL 状態情報を提供します。これは WebSphere Commerce Payments とデータベース・サーバーとの間の通信における障害、またはテーブルの定義と WebSphere Commerce Payments が予期する定義との間の矛盾の結果である可能性があります。

ユーザーの処置: 問題についての詳細は、SQL 状態情報を参照してください。データベース・サーバーの接続をテストして、テーブル定義が、WebSphere Commerce Payments の所定の定義と一致することを確認してください。

CEPCustomOffline5010: An assertion failure occurred while closing a batch. The merchant number is *merchant_number*, the order number is *order_number*, the batch number is *batch_number*, the payment number is *payment_number*, and the actual credit state is *credit_state*. (バッチをクローズしようとして、アサーション障害が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、オーダー番号は *order_number*、バッチ番号は *batch_number*、決済番号は *payment_number*、および実際のクレジットの状態は *credit_state* です。)

重大度: エラー

説明: バッチのクローズ中に、不正な状態の決済がそのバッチに含まれていることが明らかになりました。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline6000: An assertion failure occurred while querying the CUSTOMCREDIT table. The merchant number is *merchant_number*, the order number is *order_number*, and the credit number is *credit_number*. (CUSTOMCREDIT テーブルを参照しようとして、アサーション障害が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、オーダー番号は *order_number*、およびクレジット番号は *credit_number* です。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMCREDIT テーブルの参照中に、1 行が戻されることが予期されていましたが、複数のエントリが戻されました。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline6001: An assertion failure occurred while querying the CUSTOMCREDIT table. The merchant number is *merchant_number*, the order number is *order_number*, and the credit number is *credit_number*. (CUSTOMCREDIT テーブルを参照しようとして、アサーション障害が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、オーダー番号は *order_number*、およびクレジット番号は *credit_number* です。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMCREDIT テーブルの参照中に、1 行が戻されるはずでしたが、何も戻されませんでした。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline6002: An SQL exception occurred while querying a credit from the CUSTOMCREDIT table. The merchant number is *merchant_number*, the order number is *order_number*, and the credit number is *credit_number*.

(CUSTOMCREDIT テーブルのクレジットを参照しようとして、SQL 例外が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、オーダー番号は *order_number*、およびクレジット番号は *credit_number* です。)

重大度: エラー

説明: SQL 例外テキストは例外を記述し、XOPEN SQL の指定で参照できる SQL 状態情報を提供します。これは WebSphere Commerce Payments とデータベース・サーバーとの間の通信における障害、またはテーブルの定義と WebSphere Commerce Payments が予期する定義との間の矛盾の結果である可能性があります。

ユーザーの処置: 問題についての詳細は、SQL 状態情報を参照してください。データベース・サーバーの接続をテストして、テーブル定義が、WebSphere Commerce Payments の所定の定義と一致することを確認してください。

CEPCustomOffline6003: An SQL exception occurred while closing a query on the CUSTOMCREDIT table. (CUSTOMCREDIT テーブルに対するクエリーをクローズしようとして、SQL 例外が発生しました。)

重大度: エラー

説明: SQL 例外テキストは例外を記述し、XOPEN SQL の指定で参照できる SQL 状態情報を提供します。これは WebSphere Commerce Payments とデータベース・サーバーとの間の通信における障害、またはテーブルの定義と WebSphere Commerce Payments が予期する定義との間の矛盾の結果である可能性があります。

ユーザーの処置: 問題についての詳細は、SQL 状態情報を参照してください。データベース・サーバーの接続をテストして、テーブル定義が、WebSphere Commerce Payments の所定の定義と一致することを確認してください。

CEPCustomOffline6004: An assertion failure occurred while querying the CUSTOMCREDIT table. The merchant number is *merchant_number*, the order number is *order_number*, the credit number is *credit_number*, and the number of rows affected is *rows*. (CUSTOMCREDIT テーブルを参照しようとして、アサーション障害が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、オーダー番号は *order_number*、クレジット番号は *credit_number*、および関係する行数は *rows* です。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMCREDIT テーブルの参照中に、1 行が戻されるはずでしたが、複数行が戻されました。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline6005: An SQL exception occurred while inserting a new credit into the CUSTOMCREDIT table. The merchant number is *merchant_number*, the order number is *order_number*, and the credit number is *credit_number*. (CUSTOMCREDIT テーブルに新しいクレジットを挿入しようとして、SQL 例外が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、オーダー番号は *order_number*、およびクレジット番号は *credit_number* です。)

重大度: エラー

説明: SQL 例外テキストは例外を記述し、XOPEN SQL の指定で参照できる SQL 状態情報を提供します。これは WebSphere Commerce Payments とデータベース・サーバーとの間の通信における障害、またはテーブルの定義と WebSphere Commerce Payments が予期する定義との間の矛盾の結果である可能性があります。

ユーザーの処置: 問題についての詳細は、SQL 状態情報を参照してください。データベース・サーバーの接続をテストして、テーブル定義が、WebSphere Commerce Payments の所定の定義と一致することを確認してください。

CEPCustomOffline6006: An assertion failure occurred while updating the CUSTOMCREDIT table. The merchant number is *merchant_number*, the order number is *order_number*, the credit number is *credit_number*, and the number of rows affected is *rows*. (CUSTOMCREDIT テーブルを更新しようとして、アサーション障害が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、オーダー番号は *order_number*、クレジット番号は *credit_number*、および関係する行数は *rows* です。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMCREDIT テーブルの更新中に、1 行が更新されるはずでしたが、複数行が影響を受けました。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline6007: An SQL exception occurred while updating an existing credit in the CUSTOMCREDIT table. The merchant number is *merchant_number*, the order number is *order_number*, and the credit number is *credit_number*. (CUSTOMCREDIT テーブルの既存のクレジットを更新しようとして、SQL 例外が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、オーダー番号は *order_number*、およびクレジット番号は *credit_number* です。)

重大度: エラー

説明: SQL 例外テキストは例外を記述し、XOPEN SQL の指定で参照できる SQL 状態情報を提供します。これは WebSphere Commerce Payments とデータベース・サーバーとの間の通信における障害、またはテーブルの定義と WebSphere Commerce Payments が予期する定義との間の矛盾の結果である可能性があります。

ユーザーの処置: 問題についての詳細は、SQL 状態情報を参照してください。データベース・サーバーの接続をテストして、テーブル定義が、WebSphere Commerce Payments の所定の定義と一致することを確認してください。

CEPCustomOffline6008: An assertion failure occurred while removing a row from the CUSTOMCREDIT table. The merchant number is *merchant_number*, the order number is *order_number*, the credit number is *credit_number*, and the number of rows affected is *rows*. (CUSTOMCREDIT テーブルから行を削除しようとして、アサーション障害が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、オーダー番号は *order_number*、クレジット番号は *credit_number*、および関係する行数は *rows* です。)

重大度: エラー

説明: CUSTOMCREDIT テーブルから行を削除する際に、1 行が削除されるはずでしたが、複数行が影響を受けました。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline6009: An SQL exception occurred while deleting a credit from the CUSTOMCREDIT table. The merchant number is *merchant_number*, the order number is *order_number*, and the credit number is *credit_number*. (CUSTOMCREDIT テーブルからクレジットを削除しようとして、SQL 例外が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、オーダー番号は *order_number*、およびクレジット番号は *credit_number* です。)

重大度: エラー

説明: SQL 例外テキストは例外を記述し、XOPEN SQL の指定で参照できる SQL 状態情報を提供します。これは WebSphere Commerce Payments とデータベース・サーバーとの間の通信における障害、またはテーブルの定義と WebSphere Commerce Payments が予期する定義との間の矛盾の結果である可能性があります。

ユーザーの処置: 問題についての詳細は、SQL 状態情報を参照してください。データベース・サーバーの接続をテストして、テーブル定義が、WebSphere Commerce Payments の所定の定義と一致することを確認してください。

CEPCustomOffline6010: An assertion failure occurred while closing a batch. The merchant number is *merchant_number*, the batch number is *batch_number*, the order number is *order_number*, the credit number is *credit_number*, and the actual credit state is *credit_state*. (バッチをクローズしようとして、アサーション障害が発生しました。マーチャント番号は *merchant_number*、バッチ番号は *batch_number*、オーダー番号は *order_number*、クレジット番号は *credit_number*、および実際のクレジットの状態は *credit_state* です。)

重大度: エラー

説明: バッチのクローズ中に、不正な状態のクレジットがそのバッチに含まれていることが明らかになりました。

ユーザーの処置: IBM サポート担当員に連絡してください。

CEPCustomOffline7000: An SQL exception occurred while processing the output from query on cassette orders. The table queried is CUSTOMORDER. (カセット・オーダーに対するクエリーからの出力を処理しようとして、SQL 例外が発生しました。クエリーの対象となったテーブルは CUSTOMORDER です。)

重大度: エラー

説明: SQL 例外テキストは例外を記述し、XOPEN SQL の指定で参照できる SQL 状態情報を提供します。これは WebSphere Commerce Payments とデータベース・サーバーとの間の通信における障害、またはテーブルの定義と WebSphere Commerce Payments が予期する定義との間の矛盾の結果である可能性があります。

ユーザーの処置: 問題についての詳細は、SQL 状態情報を参照してください。データベース・サーバーの接続をテストして、テーブル定義が、WebSphere Commerce Payments の所定の定義と一致することを確認してください。

CEPCustomOffline7001: An SQL exception occurred while processing the output from query on cassette payments. The table queried is CUSTOMPAYMENT. (カセット決済に対するクエリーからの出力を処理しようとして、SQL 例外が発生しました。クエリーの対象となったテーブルは CUSTOMPAYMENT です。)

重大度: エラー

説明: SQL 例外テキストは例外を記述し、XOPEN SQL の指定で参照できる SQL 状態情報を提供します。

これは WebSphere Commerce Payments とデータベース・サーバーとの間の通信における障害、またはテーブルの定義と WebSphere Commerce Payments が予期する定義との間の矛盾の結果である可能性があります。

ユーザーの処置: 問題についての詳細は、SQL 状態情報を参照してください。データベース・サーバーの接続をテストして、テーブル定義が、 WebSphere Commerce Payments の所定の定義と一致することを確認してください。

CEPCustomOffline7002: An SQL exception occurred while processing the output from query on cassette credits. The table queried is CUSTOMCREDIT. (カセット・クレジットに対するクエリーからの出力を処理しようとして、SQL 例外が発生しました。クエリーの対象となったテーブルは CUSTOMCREDIT です。)

重大度: エラー

説明: SQL 例外テキストは例外を記述し、XOPEN SQL の指定で参照できる SQL 状態情報を提供します。これは WebSphere Commerce Payments とデータベース・サーバーとの間の通信における障害、またはテーブルの定義と WebSphere Commerce Payments が予期する定義との間の矛盾の結果である可能性があります。

ユーザーの処置: 問題についての詳細は、SQL 状態情報を参照してください。データベース・サーバーの接続をテストして、テーブル定義が、 WebSphere Commerce Payments の所定の定義と一致することを確認してください。

CEPCustomOffline7003: An SQL exception occurred while processing the output from query on cassette batches. The table queried is CUSTOMBATCH. (カセット・バッチに対するクエリーからの出力を処理しようとして、SQL 例外が発生しました。クエリーの対象となったテーブルは CUSTOMBATCH です。)

重大度: エラー

説明: SQL 例外テキストは例外を記述し、XOPEN SQL の指定で参照できる SQL 状態情報を提供します。これは WebSphere Commerce Payments とデータベース・サーバーとの間の通信における障害、またはテーブルの定義と WebSphere Commerce Payments が予期する定義との間の矛盾の結果である可能性があります。

ユーザーの処置: 問題についての詳細は、SQL 状態情報を参照してください。データベース・サーバーの接続をテストして、テーブル定義が、 WebSphere Commerce

Payments の所定の定義と一致することを確認してください。

CEPCustomOffline7004: An SQL exception occurred while processing the output from query on cassette accounts. The table queried is CUSTOMACCOUNT. (カセット・アカウントに対するクエリーからの出力を処理しようとして、SQL 例外が発生しました。クエリーの対象となったテーブルは CUSTOMACCOUNT です。)

重大度: エラー

説明: SQL 例外テキストは例外を記述し、XOPEN SQL の指定で参照できる SQL 状態情報を提供します。これは WebSphere Commerce Payments とデータベース・サーバーとの間の通信における障害、またはテーブルの定義と WebSphere Commerce Payments が予期する定義との間の矛盾の結果である可能性があります。

ユーザーの処置: 問題についての詳細は、SQL 状態情報を参照してください。データベース・サーバーの接続をテストして、テーブル定義が、 WebSphere Commerce Payments の所定の定義と一致することを確認してください。

The specified order was not found. (指定されたオーダーが見つかりませんでした。)

重大度:

説明: 戻りコードのペア - PRC_DATABASE_ERROR、RC_ORDER_SELECT_ORDER_MISSING。

ユーザーの処置:

付録. 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒106-0032
東京都港区六本木 3-2-31
IBM World Trade Asia Corporation
Licensing

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
Department TL3B/Building 503
P.O. Box 12195
3039 Cornwallis Road
RTP, NC 27709-2195
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができませんが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

本書には、日常のビジネス・プロセスで用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

商標

以下は、IBM Corporation の商標です。

- AIX
- IBM
- iSeries
- OS/400
- pSeries
- S/390
- WebSphere
- zSeries

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Windows、および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

SET および SET ロゴは、SET Secure Electronic Transaction LLC の商標です。

MMX および Pentium は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標
です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

用語集

[ア行]

アカウント (account). アカウントとは、マーチャントと、そのマーチャントのトランザクションを処理する金融機関との関係のこと。決済カセットごとに、複数のアカウントを設けることができる。

アドレス検証サービス (AVS) (Address Verification Service (AVS)). IBM® e-commerce において、カードの所有者を認証するためにマーチャントが使用するクレジット・カードやデビット・カードの体系。マーチャントはカード所有者の住所を要求し、AVS を使用してカード所有者本人かどうかを確認する。

アプレット (applet). Web サーバーから取り出し、Web ブラウザーで実行できる、Java™ プログラム言語で書かれたアプリケーション・プログラム。アプレットへの参照は、グラフィックス・ファイルと同じように、Web ページのマークアップで表示される。また、ブラウザは、グラフィックス・ファイルを取り出すのと同じ方法で、アプレットを取り出す。セキュリティのため、アプレットのアクセス権限は 2 つの方法に制限される。まず、アプレットは、そのアプレットを実行しているクライアントのファイルシステムにアクセスすることができない。また、アプレットがネットワークを介して行える通信は、アプレットのダウンロード元であるサーバーへの通信だけに制限される。「サーブレット」と対比。

暗号化 (encryption). (1) コンピューター・セキュリティにおいて、元のデータを入手できないようにするか、または復号処理を使用しないと入手できないようにするかのいずれかの方法で、データを解明困難な形式に変換する処理。(2) 無許可アクセスを防止するため、簡単には解読できない形式にデータを変換すること。特にデータ送信において利用される。

イベント (event). (1) ある部分に発生した変化を表すもの。その変化により、それに関連する他の部分が、変化のあった部分に関する何らかの情報についての通知を受け取ることになる。たとえば、プッシュボタンがクリックされると、そのプッシュボタンはそのことに関する通知を出すことによりイベントを生成し、それにより別の部分がウィンドウを表示することになる。(2) システム・リソース、ネットワーク・リソース、またはネットワーク・アプリケーションで生じる、重要な状態の変化。イベントは、問題の発生、問題の解決、またはタスクの正常な完了などについて生成される。

イベント・リスナー (event listener). IBM e-commerce において、関心のあるイベントの通知を待ち、そのイベントに反応するコンピューター・プログラム。

インターネット (internet). (1) TCP/IP において、複数のネットワークを相互に接続して、1 つの大きなネットワークとして機能するようにしたもの。(2) インターネットのプロトコルを使用する相互接続ネットワークの集合。汎用アクセスが可能なインターネットを指す場合には、大文字の「I」を使い Internet と表記する。インターネットであっても、アクセスが制限されている(特定の企業または組織だけがアクセスできる、など)場合には、公共インターネットに接続されているかどうかにかかわらず、イントラネットと呼ぶことが多い。

ウェルノウン・ポート (well-known port). インターネットのプロトコルにおいて、伝送制御プロトコル (TCP) やユーザー・データグラム・プロトコル (UDP) などのトランスポート・レベル・プロトコルによって使用される特定の機能をアドレッシングする、一連の割り当て済みポート・ポート番号のうちの 1 つ。たとえば、ファイル転送プロトコル (FTP) やシンプル・メール転送プロトコル (SMTP) は、ウェルノウン・ポート番号を使用する。

ウォレット (wallet). ユーザーが認証済みマーチャントに対する承認済み決済を公衆ネットワーク経由で実行できるようにするためのソフトウェア。

オーダー (order). WebSphere Commerce Payments においてオーダーは、マーチャント (被支払者) が代金を収集できるようにするために、消費者 (支払者) が必要とするすべての指示および情報を表す。

オーダー金額 (order amount). オーダーの金額。

オーダー調達 (order fulfillment). IBM e-commerce において、決済済みのオーダーに対して発送または配達する責任があるマーチャント・システム。オーダー調達システムは、WebSphere Commerce Payments に問い合わせ、どの商品を出荷するかを決定するものと見なされる。

オーダーの検索 (order search). 定義済みの一連の特性に基づいて単一のオーダーまたはオーダー・グループを検索すること。

オンライン・カタログ (online catalog). オンライン・ストアでの表示や購入のために利用できるカタログ・グループやカタログ・エントリーの総称。

[カ行]

カード所有者 (cardholder). e-commerce において、有効な決済カード・アカウントを所有し、e-commerce をサポートするソフトウェアを使用する人。

カード・プロセッサ (card processor). マーチャントがトランザクション要求を送信する先の決済機関のエージェント。カード・プロセッサには、マーチャントがトランザクションを処理するのに利用できる管理用および組織的なインフラストラクチャーの大半が用意されている。

鍵 (key). コンピューター・セキュリティーにおいて、データを暗号化または復号するために暗号化アルゴリズムで使用されるシンボルのシーケンス。「秘密鍵」および「公開鍵」を参照。

鍵リング (key ring). コンピューター・セキュリティーにおいて、公開鍵、秘密鍵、トラステッド・ルート、および証明書を含むファイル。

カセット (cassette). (1) e-commerce において、e-commerce に関係する他のソフトウェア・コンポーネントに簡単にインストールし、これらのコンポーネントの機能を拡張することができる Java のクラスおよびインターフェースの集合からなるソフトウェア・コンポーネント。(2) IBM e-commerce における、WebSphere Commerce Payments の概念の 1 つ。WebSphere Commerce Payments では、さまざまな決済形式をサポートできる枠組みが用意されている。WebSphere Commerce Payments カセットは、IBM またはサード・パーティーのベンダーによって書かれ、WebSphere Commerce Payments の枠組みに含まれるさまざまな決済プロトコル (VisaNet や BankServACH など) をサポートしている。したがって、WebSphere Commerce Payments はさらに別のプロトコルをサポートできる拡張可能な製品である。

完全修飾ドメイン・ネーム (FQDN) (fully qualified domain name (FQDN)). インターネットのプロトコルにおいて、ドメイン・ネームのすべてのサブネームを含むホスト・システムの名前。完全修飾ドメイン・ネームの例は、mycomputer.city.company.com。「ホスト名」を参照。

強制クローズ (force). IBM e-commerce における、WebSphere Commerce Payments の 1 つの用語。バッチの清算が試みられる。調整ステップが失敗しても、バツ

チが WebSphere Commerce Payments でクローズされることはない (ただし、収支がとれていないかまたは金融機関でクローズされていない可能性はある)。

均衡 (balanced). IBM e-commerce における、WebSphere Commerce Payments の Batch オブジェクトの属性の 1 つ。バッチは正常に均衡を保っている。総合計が一致している。

金融機関 (financial institution). (1) 信用または管理の延長、貸付、両替、または金銭の発行など、広範囲にわたる顧客主導の資金の取引や伝送を円滑に行えるようにする信用機関。たとえば、銀行または銀行が指定する機関。(2) IBM e-commerce では、銀行、住宅金融組合、および信用組合は金融機関の例である。金融サービスを提供する機関。

金融ネットワーク (financial network). IBM e-commerce において、決済カードのトランザクション処理を以前から実行しているカードの処理機関、決済機関、カードの発行者、およびその他の機関の集合体。

クラーク (Clerk). IBM e-commerce における、WebSphere Commerce Payments の概念の 1 つ。WebSphere Commerce Payments には、4 つの異なるアクセス権がある。クラークは、マーチャントごとに定義される最低のアクセス・レベルである。

クライアント (client). (1) サーバーから提供される共有サービスを受け取る機能単位。たとえば、Web サーバーに対して HTML 文書を要求するパーソナル・コンピューターは、そのサーバーのクライアントである。(2) 一般にサーバーと呼ばれる他のコンピューター・システムまたはプロセスのサービスを要求する、コンピューター・システムまたはプロセス。複数のクライアントが共通のサーバーへのアクセスを共用することもできる。

クレジット (credit). 有効な資金化メッセージが出た後に、マーチャントがカード所有者に (決済機関や発行機関を通して) 返金する必要がある場合に送信されるトランザクション。たとえば、商品が返品されたり不良品であった場合などが考えられる。

クレジット回数 (number of credits). クレジットは、有効な資金化メッセージが出た後に、マーチャントがカード所有者に (決済機関や発行機関を通して) 返金する必要がある場合に送信されるトランザクションである。たとえば、商品が返品されたり不良品であった場合などが考えられる。クレジットは、オーダーに関連付けられたすべての決済の合計数まで作成できる。オーダーごとに、0 件以上のクレジットが存在する。

クローズ (closed). オーダーに関連した決済が「デポジット」状態から「クローズ」状態が変わるとき (つまり、決済に関連付けられたバッチがクローズする場合) に、オーダーは「クローズ」状態になる。オーダーが「クローズ」状態になると、金銭的取引は完了する。代金はデポジットされ、オーダーを変更できなくなる。この状態では、オーダーへのコマンドは許可されていない。

ゲートウェイ (gateway). ローカル・データ・ネットワークを別のネットワークにつなぐための機能単位。

決済 (payment). 決済とは、マーチャントが金融機関に対して、オーダーの全部または一部を承認するよう要求すること。多くの場合、オーダーが発生して集金が与信されると、その全額が一度の決済で集金される。ただし決済のシステムによっては、1つのオーダー (つまり一連の決済指示) で与信された金額を、ビジネス・モデルに応じて複数回の決済で集金することもある。

決済カード (payment card). (1) クレジット・カード、デビット・カード、およびキャッシュ・カードの総称で、金融機関によって発行され、所有者と金融機関との関係を反映するもの。(2) e-commerce において、クレジットカード、デビット・カード、またはチャージ・カードであって、(a) 金融機関によって発行され、所有者と金融機関との関係を示し、(b) 認証された認証局がそのカードに関する証明書を発行できるもの。

決済回数 (number of payments). 決済とは、マーチャントが金融機関に対して、オーダーの全部または一部を承認するよう要求すること。多くの場合、オーダーが発生して集金が与信されると、その全額が一度の決済で集金される。ただし決済のシステムによっては、1つのオーダー (つまり一連の決済指示) で与信された金額を、ビジネス・モデルに応じて複数回の決済で集金することもある。オーダーごとに 0 件以上の決済が存在する。

決済額 (payment amount). マーチャントがこのオーダーでデポジットした決済金額の合計。

決済カセット (payment cassette). 電子決済プロトコルを実装するカセット。

決済機関 (acquirer). e-commerce において、取引に関連する金融データをマーチャントから受け取り、その取引を許可する金融機関 (または金融機関のエージェント)。

決済ゲートウェイ (payment gateway). (1) 決済ゲートウェイ・コンポーネントは、決済機関または指定したサード・パーティーが実行する製品であり、マーチャントの与信や決済メッセージ (カード所有者による決済に関する指示を含む) を処理し、専用の金融ネットワーク

とのインターフェースをとる。(2) e-commerce において、マーチャントと決済機関の間のトランザクションを処理するエンティティー。

決済の無効化 (void payment). IBM e-commerce において、決済操作を破棄またはキャンセルすることを意味する用語。

公開鍵 (public key). (1) セキュア通信において、対応する秘密鍵によって暗号化されたメッセージを暗号化解除するために使用されるアルゴリズム・パターン。公開鍵は、対応する秘密鍵によってのみ暗号化解除されるよう、メッセージを暗号化するためにも使用される。ユーザーは、暗号化されたメッセージをやり取りする相手に対して公開鍵を送る。(2) コンピューター・セキュリティにおいて、すべてのユーザーが使用できる鍵。

コマース・サービス・プロバイダー (CSP) (commerce service provider (CSP)). マーチャントのショッピング・サイトのホストとして機能し、マーチャントのために決済を処理するインターネット・サービス・プロバイダー。

コンストラクター (constructor). プログラム言語で、クラスと同じ名前を持ち、そのクラスのオブジェクトの作成および初期化に使用されるメソッド。

[サ行]

サーバー (server). (1) ネットワークを介して 1 つまたは複数のクライアントにサービスを提供する機能単位。(2) ネットワークを通じて、他のコンピューターに共有サービスを提供するコンピューター。ファイル・サーバー、プリント・サーバー、メール・サーバーなど。

サーブレット (servlet). Web サーバー上で実行される、Java プログラム言語で書かれたアプリケーション・プログラム。サーブレットは、グラフィックス・ファイルの参照の場合と同じように、Web ページ用のマークアップで表示される。Web サーバーは、サーブレットを実行し、実行の結果 (何らかの結果が得られた場合) を Web ブラウザーに送信する。「アプレット」と対比。

資金化 (capture). 決済機関が顧客の金融機関からの支払を受け取ったり、支払額を送金する処理。資金化は、預金が利用可能な状態であり振替が実行されるということの保証となる。

収支 (balance). IBM e-commerce における、WebSphere Commerce Payments の Batch オブジェクトの属性の 1 つ。バッチがクローズされたときに、マーチャントと金融機関がバッチの内容に同意したかどうかを示す。

収支状況 (balance status). IBM e-commerce における、WebSphere Commerce Payments の Batch オブジェクトの属性の 1 つ。バッチの収支状況は、均衡または不均衡のいずれか。

承認 (approve). IBM e-commerce における、WebSphere Commerce Payments の 1 つの用語。マーチャントは、これを発行して Payment オブジェクトを作成する。クレジット・カードのプロトコルを実装したカセットの場合、この用語は与信に相当する（「与信」を参照）。カセットによっては、別の承認処理を実装しているものもある。

証明書 (certificate). (1) コンピューター・セキュリティーにおいて、公開鍵を証明書の所有者の ID と結合するデジタル文書。これによって、証明書の所有者を認証することができる。証明書は認証局 (CA) によって発行される。(2) SETCo. では、公開鍵のユーザーを識別するために、信用機関（通常はカード所有者の金融機関）によってデジタル署名されている証明書。SET™ は、以下の証明書タイプを定義する。

- 署名
- 鍵の暗号化
- 証明書署名
- CRL 署名

除去 (purge). IBM e-commerce における、WebSphere Commerce Payments の 1 つの用語。関連付けられているすべての決済およびクレジットを、Batch オブジェクトから除去すること。その際、Batch オブジェクトが作成されたばかりであるかのように扱う。

スーパーバイザー (Supervisor). マーチャントのすべての決済処理機能を実行できる。

スレッド (thread). プロセスを制御するコンピューター命令のストリーム。マルチスレッド化されたプロセスは、命令のうちの 1 ストリーム (1 スレッド) によって開始され、その後で、タスクを実行するための他の命令ストリームを作成することがある。

スレッド・プール (thread pool). コンピューター・プログラムによって使用されているか、あるいは使用可能なスレッド。

清算 (settle). IBM e-commerce における、WebSphere Commerce Payments の 1 つの用語。Batch オブジェクトのクローズと資金の振り込みを試みる。清算手順の一部として、マーチャントと金融機関が資金の転送に同意していることを確認するため、いくつかの調整または清算ステップがある場合がある（カセットや金融機関の方針によって決まる）。調整ステップが失敗すると、バッチはオープン状態のままになる可能性がある。

正当性 (integrity). コンピューター・セキュリティーにおいて、相手に到着する情報が送り出された情報と同じであるという保証。

選択して販売 (sale selected). 承認するオーダーを選択して承認し、関連する決済をデポジット状態に直接移行する。販売機能は、決済に対する承認およびデポジットを自動的に実行する。

専用回線 (leased line). 顧客の端末をネットワーク上の専用ポートにするため、通信事業者からリースにより顧客に提供されている電話回線。

ソケット (socket). プロセス間またはアプリケーション・プログラム間での通信のためにネットワークのトランスポート・サービスによって提供されるエンドポイント。

[夕行]

定期循環払い (recurring payments). カードの所有者が開始する決済トランザクションの種類で、複数の与信の処理をマーチャントに認める。以下のような、2 種類の定期循環払いがある。

1. 定額の複数回払い
2. 定期的な請求

[ナ行]

認証 (authentication). (1) コンピューター・セキュリティーにおいて、メッセージが変更または破壊されていないことの検証。(2) コンピューター・セキュリティーにおいて、ユーザーを特定すること、またはあるオブジェクトにアクセスする権限がユーザーにあるかどうかを判断すること。(3) 個人を特定する処理。普通、ユーザー ID とパスワードを使用する。セキュリティー・システムにおいて、認証と与信は異なる。認証は、単にその個人が、その主張通りの人物であることを確認するだけであり、その個人のアクセス権を定義するわけではない。

[ハ行]

発行者 (issuer). (1) 決済カード・ブランドのカード所有者に固有の主要アカウント番号 (PAN) を発行する金融機関またはその代理店。(2) e-commerce において、個人に対して決済カードを発行する金融機関。カード発行機関は、それ自体の認証局 (CA) として機能したり、第三者とサービスに関する契約を結んだりすることもできる。

バッチ (batch). (1) 決済トランザクションの集まり。資金化、クレジット、資金化取り消し、およびクレジット取り消しを 1 つのグループとして実行する場合など。バッチは、決済機関の金融システムに対して 1 つの単位として送信される。バッチ処理の使用に関するビジネス・ガイドラインは、信用調査機関によって定められる。マーチャントも、それらのガイドラインに沿ったポリシーを設定する。(2) IBM e-commerce において、基本的な WebSphere Commerce Payments オブジェクトの 1 つがバッチである。バッチには、Payments オブジェクトや Cledit オブジェクトが関連付けられる。資金の転送は、バッチをクローズするときに行われる。(3) 共に処理または伝送される、レコードやデータ処理ジョブのグループ。

バッチの清算 (settle batches). バッチの清算は、バッチ (決済およびリファンド) の処理を決済処理プログラムに依頼するために使用する。1 つのバッチを清算するか、複数のバッチを清算するかを選択することができる。

バッチ番号 (batch number). バッチを識別する番号。支払額の入金時に WebSphere Commerce Payments がバッチに割り当てる番号。

販売 (sale). クレジット・カード業界では、トランザクションが与信され、2 段階のプロセスを使用せずに一度に資金化するようにマークが付けられると、販売が発生する。

秘密鍵 (private key). (1) セキュア通信において、対応する公開鍵によってのみ暗号化解除できるよう、メッセージを暗号化するために使用されるアルゴリズム・パターン。秘密鍵は、対応する公開鍵によって暗号化されたメッセージを暗号化解除するためにも使用される。秘密鍵はユーザーのシステム上に保存され、パスワードによって保護される。(2) コンピューター・セキュリティにおいて、所有者のみが知っている鍵。

ファイアウォール (firewall). あるネットワークと別のネットワークとの接続を保護および制御する機能単位。ファイアウォールは、(a) 望まれない、または許可されていない通信トラフィックが、保護されているネットワーク内に進入しないように保護し、(b) 選択された通信トラフィックだけが保護されたネットワーク外にアクセスできることを許可する。

不均衡 (out of balance). バッチの収支を合わせようとして失敗したこと。総合計が一致していない。

復号 (decryption). コンピューター・セキュリティにおいて、エンコードされたテキストまたは暗号テキストを非暗号テキストに変換する処理。

プライマリー・アカウント番号 (PAN) (primary account number (PAN)). カードの発行者や所有者を識別するために割り当てられている番号。このアカウント番号は、発行者の識別番号、個人のアカウント番号の ID、および ISO 7812-1985 によって定義されているチェック・ディジットから成っている。

ブランド (brand). IBM e-commerce では、すべての WebSphere Commerce Payments カセット (例: VisaNet のカセットや Paymentech のカセット) の Cassette オブジェクト。WebSphere Commerce Payments カセットの金銭的取引はそれぞれ、特定のブランド (たとえば、MasterCard または VISA) に関連付けられる。金融機関の各口座は、1 つまたは複数のブランドをサポートするよう構成できる。

プロトコル (protocol). ネットワークの管理、データの転送、およびネットワーク・コンポーネントの状態の同期化に使用される、要求と応答の意味、およびそれらの順序付け規則。

分割払い (installment payments). マーチャントとカード所有者との間で取り決める決済トランザクションの種類で、複数の与信の処理をマーチャントに認める。

文書タイプ定義 (DTD) (document type definition (DTD)). SGML または XML 文書の特定のクラスの構造を指定する規則。DTD は、エレメント、属性、および記法を持つ構造を定義し、特定のクラスの文書で各エレメント、属性、および記法をどのように使用するかについて、制約を設定する。DTD は、特定のマークアップ言語についてのすべての構造を記述するという点で、データベース・スキーマに似ている。

ポート (port). インターネットのプロトコルにおいて、伝送制御プロトコル (TCP) またはユーザー・データグラム・プロトコル (UDP) と、高水準プロトコルまたはアプリケーションの間の特定の論理結合子。「ウェルノウン・ポート」を参照。

ポート番号 (port number). インターネットのプロトコルにおいて、アプリケーション・エンティティーとトランスポート・サービスの間の論理結合子の ID。

ホスト (host). Web サイトを管理するためのソフトウェアとサービスを提供すること。

ホスト名 (host name). インターネットのプロトコルにおいて、コンピューターに付けられた名前。「ホスト名」は、完全修飾ドメイン・ネームを意味することもあり、また完全修飾ドメイン・ネームの最も特定のサブネームを意味することもある。たとえば、

mycomputer.city.company.com が完全修飾ドメイン・ネームである場合、次のどちらもホスト名と考えることができる。

- mycomputer.city.company.com
- mycomputer

[マ行]

マーチャント (merchant). 商品、サービス、または他の情報 (あるいはそれらすべて) の売り手で、これらの品目に対する支払いを電子的に受け取る側のこと。マーチャントは、電子的な販売サービスや、販売する商品の電子的な納入も提供することがある。マーチャントは、ストアの販売状況を追跡するだけでなく、ストアの全体的な目標や管理を監視する。

マーチャント・サーバー (merchant server). (1) マーチャント・サーバー・コンポーネントは、決済カードのトランザクションと与信を処理するために、オンライン・マーチャントが実行するプロダクトである。これは、カード所有者のウォレット、Payment Gateway、および認証局のコンポーネントと通信する。(2) e-commerce において、カタログ式販売を行う Web サーバー。

マーチャント・チャージバック (merchant chargeback). IBM e-commerce において、不正行為が発生したために代金が支払われなかった場合の責任をマーチャントが取る場合、金融機関はマーチャント・チャージバックを発行して、マーチャント・アカウントに以前に返金した額の返還を要求できる。

マーチャント・バンク (merchant bank). 決済金融機関。マーチャント・バンクは、マーチャントに対してクレジット・カード決済のための手段を提供することにより、マーチャント・ビジネスを獲得する。そのような金融機関は、マーチャントに対してサービス提供料金を課す。

[ヤ行]

有効期限 (expiry). (1) 証明書を取得したとき割り当てられた証明書の有効期限。証明書は、決済の種類ごとに固有。(2) カードの有効期限を指定すること。SET プロトコルでは、有効期限の値が必須。この値はストリングとして指定され、決済の開始メッセージで使用される。たとえば、199911 は有効期限の値である。

与信 (authorization). (1) 何らかの処理を実行する権限を、適切に指名された人 (複数の場合あり) が、組織を代表して付与するプロセス。このプロセスにより、取引に伴うリスクを見極め、指定した取引でアカウント所

有者の借り入れがアカウントの信用限度額を超えないよう確認し、指定された金額のクレジットを留保する。(マーチャントが与信を得るときに、そのマーチャントが与信の処理に関連する規則を順守する限り、与信範囲の金額の支払いが保証される。) (2) コンピューター・セキュリティにおいて、コンピューター・システムと通信したりコンピューター・システムを使用したりできるように、ユーザーに付与される権利。(T) (3) アクセス権限。(4) オブジェクト、リソース、または機能に対して、全面的あるいは制限付きのアクセス権限をユーザーに付与するプロセス。

与信 (authorize). クレジット・カード業界においては、最初に取引に対して与信 がなされることによって、マーチャントは、カード所有者の資金で取引が行えることが保証される。カードの発行者 (つまり、そのカードを発行した銀行) が支払いを保証する。

与信取り消し (authorization reversal). 以前の与信をキャンセルする必要がある場合 (つまり、完全に取り消す場合) または縮小する場合 (つまり、部分的に取り消す場合) に送信されるトランザクション。完全取り消しは、取引を完了できない場合に使用する。たとえば、カード所有者がオーダーをキャンセルする場合や、または製造中止になるなど、商品を販売できないことにマーチャントが気付く場合など。部分取り消しは、オーダー全体の与信を得ているものの、一部の商品を発送できないため、結果的に分割して発送する場合に使用する。

[ラ行]

リファンド (refund). オーダーするために使用する特定通貨の最小の額面でクレジット金額を識別すること。

レルム (realm). WebSphere® ファミリーの製品において、ユーザー、グループ、およびアクセス・コントロール・リストのデータベース。レルムに属するリソースにアクセスするには、ユーザーはそのレルムで定義されていなければなりません。

C

CGI プログラム (CGI program). Web サーバーで実行されるプログラムの一種。共通ゲートウェイ・インターフェース (CGI) を使用して、そのサーバーで通常は実行されないタスク (データベース・アクセスやフォームの処理など) を実行する。OS/400® オペレーティング・システムでは、ILE C、ILE RPG、および ILE COBOL の言語で作成されたコンパイル済み CGI プログラムがサポートされている。

D

DTD. 「文書タイプ定義」を参照。

E

EAR ファイル (EAR file). WebSphere Application Server に配置できる J2EE アプリケーションを表すエンタープライズ・アーカイブ・ファイル。EAR ファイルは標準的な Java アーカイブ・ファイルであり、.ear というファイル拡張子を持つ。

e-commerce. (1) 一部または全部の取引が電子通信によってなされる際に、カード所有者とマーチャントが決済対象の商品やサービスをやりとりすること。(2) インターネットなどの電子メディアを介して購入された商品またはサービスの代金を交換する、e-business のサブセット。

H

HTML. 「Hypertext Markup Language」を参照。

HTTP. 「Hypertext Transfer Protocol」を参照。

Hypertext Markup Language (HTML). SGML 規格に準じたマークアップ言語。主に、ハイパーテキスト・リンクを含む、テキストおよびグラフィックスの情報のオンライン表示をサポートすることを目的として設計されている。

Hypertext Transfer Protocol (HTTP). インターネットのプロトコルにおいて、Web 上にあるハイパーテキスト文書を転送および表示するために使用されるプロトコル。

I

IP アドレス (IP address). インターネットに接続された各デバイスまたはワークステーションのロケーションを指定する、固有の 32 ビット・アドレス。たとえば、9.67.97.103 は IP アドレスである。

J

J2EE. (Java 2 Enterprise Edition) J2EE のうち、配置可能な機能単位。これは単一のモジュールまたはモジュールのグループで、.ear ファイルにパッケージされており、J2EE アプリケーション・デプロイメント記述子を伴っている。

Java. リモート・オブジェクト間での対話をサポートする移植可能な解釈コードのためのオブジェクト指向プログラム言語。Java は、Sun Microsystems, Incorporated によって開発され、使用が制定された。

Java Database Connectivity (JDBC). オープン・データベース・コネクティビティ (ODBC) と同じ特性を備え、しかも Java データベース・アプリケーションで使用するために特に設計された、アプリケーション・プログラミング・インターフェース (API)。また、データベースに JDBC ドライバーが組み込まれていない場合に備えて、JDBC には JDBC から ODBC へのブリッジが含まれている。このブリッジは、JDBC を ODBC に変換するためのメカニズムであり、Java データベース・アプリケーションに JDBC API を提供し、これを ODBC に変換する。JDBC は、Sun Microsystems, Inc. および同社の多くの協力企業ならびに取引先によって開発された。

Java 仮想計算機 (JVM) (Java Virtual Machine (JVM)). コンパイル済み Java コード (アプレットおよびアプリケーション) を実行する中央処理装置 (CPU) のソフトウェア実装。

L

LUHN 公式 (LUHN formula). クレジット・カードの不正使用の基本的防止策として、多くのクレジット・カード会社が採用している業界標準規格。

P

Payment Server. e-commerce において、キャッシュ・レジスターに相当する電子的機能であって、購入された商品およびサービスに対する決済を編成して受け入れる。Payment Server は、決済ゲートウェイや決済管理システムなどの他のコンポーネントを使用して、金融取引を完了する。

S

Secure Electronic Transaction (SET). 「SET Secure Electronic Transaction」を参照。

Secure Sockets Layer (SSL). クライアントがサーバーを認証したり、あらゆるデータや要求を暗号化したりするためのセキュリティー・プロトコルの 1 つ。SSL によって保護されたセキュア・サーバーの URL は (HTTP ではなく) HTTPS で始まる。

SET. 「SET Secure Electronic Transaction」を参照。

SET Secure Electronic Transaction™. インターネットなど、オープン・ネットワーク上で、クレジット・カードやデビット・カードによる決済を安全に実行するために開発された業界標準規格。

socks サーバー (socks server). 非セキュア・ネットワークで、ファイアウォールを介してサーバー・アプリケーションにセキュアは一方接続を提供するプロキシ・サーバー。セキュア・ネットワーク内のサーバー・アプリケーションは、ソケット・インターフェースとの互換性がなければならない。

socks プロトコル (socks protocol). 保護されたネットワーク内のアプリケーションが socks サーバーを経由して、ファイアウォールを介して通信することを可能にするプロトコル。

socks ポート (socks port). socks サーバーが listen するときのポート。

SSL. 「Secure Sockets Layer」を参照。

U

uniform resource locator (URL). インターネット上のファイルのアドレス。URL には、プロトコル名、完全修飾ドメイン・ネーム、およびパスおよびファイルの位置が含まれる。

URL. 「uniform resource locator」を参照。

W

WAR ファイル (WAR file). Web アーカイブ (WAR) は、下記の 1 つ以上を格納するために使用される Java アーカイブ・ファイルである。サーブレット、JavaServer Pages (JSP) ファイル、ユーティリティ・クラス、静的文書 (HTML ファイル、イメージ、サウンドなど)、クライアント・サイドのアプレットと bean とクラス、記述的メタ情報。その標準的なファイル拡張子は .war である。WAR ファイルは Web モジュールをパッケージするのに使用される。

Web サーバー (Web server). Web 上にあって、HTTP 文書に関する要求を処理するサーバー。Web サーバーは、WebSphere Commerce との間のトランザクションの流れを制御する。これは、顧客のトランザクションの機密性を保護すると共に、ユーザー識別が WebSphere Commerce Server に安全な方法で送信されることを保証する。そのようなレベルのセキュリティーを達成するため、Web サーバーには Secure Sockets Layer (SSL) が実装されている。

Web サイト (Web site). 単一エンティティ (組織または個人) によって管理され、そのユーザーに関するハイパーテキストの情報を含む Web サーバーで、多くの場合、他の Web サイトへのハイパーテキスト・リンクを含んでいる。各 Web サイトにはホーム・ページがある。URL では、Web サイトは完全修飾ドメイン・ネームによって示される。たとえば、

http://www.as400.ibm.com/icswg.html という URL の場合、IBM AS/400 の Web サイトは、www.as400.ibm.com という完全修飾ドメイン・ネームによって表される。

Web ブラウザー (Web browser). (1) IBM e-commerce において、カード所有者の処理システムで実行するソフトウェアで、公衆データ網へのインターフェースを提供する。(2) Web サーバーに対する要求を開始し、サーバーから戻された情報を表示するクライアント・プログラム。

Web ページ (Web page). World Wide Web (WWW) の URL によってアクセスできる文書。

WebSphere. 基本的な Web 作成のための環境や、トランザクションの多い企業で使用する e-business アプリケーションを開発および展開するための環境を提供する IBM ソフトウェア製品ファミリーに使用される用語。

X

XML. マークアップ言語を定義する標準のメタ言語。SGML から派生し、SGML のサブセットである。XML は、SGML のより複雑でより使用頻度の低い部分を省略し、文書タイプを操作するためのアプリケーションの作成、構造化情報の作成および管理、およびさまざまなコンピューティング・システム間での構造化情報の伝送および共有を、より容易に実行できるようにしたものである。XML の定義は、World Wide Web Consortium (W3C) によってなされている。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

アイコン 10
アカウント 13
インストール・ディレクトリー vi
エラー・メッセージ 39
 重大度 39
 説明 39
 メッセージ ID 39
 ユーザーの処置 39
オーダー 14, 19
 検索 19
 詳細情報 16
 状態 19
 承認 15
 承認、販売機能 16
 承認額 16
 販売機能 16
 部分承認 16
オーダー検索のフィールド 19, 20
オーダーの検索 19
 フィールド 19
オブジェクト 31
 管理 32
 金融 31
オブジェクト・リファレンス 31
 金融オブジェクト 31
 構文 31
 説明 31
 フィールド名 31
オペレーションまたはセールス・マネージャー 2, 12
オンライン・ヘルプ vii

[カ行]

管理コマンド 29
 サポートされていないもの 30
 サポートされているもの 29
 CreateAccount 29
 ModifyAccount 29
管理コンソール 11
管理コンソールの Web アドレス 11
キャッシャー・プロファイル 23
 定義 23

キャッシャー・プロファイル (続き)
 ディレクトリー 24
 BillMe プロファイル 24
 COD プロファイル 24
許可、カセットの 10
金融オブジェクト 31
 Batch 32
 Credit 32
 Order 31
 Payment 32
金融コマンド 25
 サポートされていないもの 29
 サポートされているもの 28
 AcceptPayment 25
 Approve 27
 BatchClose 27
 Deposit 28
 Refund 28
クラーク 2, 3, 12
クレジット 19
 オーダー検索のフィールド 19
 オーダー番号 19
 金額 20
 作成の設定値 20
 発行 19
決済 17
 デポジット 17
 分割デポジット 17
構成の前に 7
顧客サービス・スーパーバイザー 2, 12
コマンド 25, 27, 28, 29, 30
 値 25
 管理 29
 キーワード 25
 金融 25
 パラメーター
 オプション 25
 必須 25
コンポーネント 4

[サ行]

サイト管理者 vi, 2, 11
削除、バッチの 19
作成、アカウントの 13
作成、オーダーの 14
手動決済取引 5
承認、オーダーの 15
 「オーダー」ページ 16
 金額 16
 販売機能 16

承認、オーダーの (続き)
 部分承認 16
商標 56
スーパーバイザー 2, 3, 12
ストア vi
清算、バッチの 17
製品情報 vii

[タ行]

チュートリアル 11
 許可、カセットの 10
 クレジットの発行 19
 作成、アカウントの 13
 作成、オーダーの 14
 初期セットアップ 9
 承認、オーダーの 15
 清算、バッチの 17
 定義、Payments ユーザーの 11
 デポジット、決済の 17
 表示、バッチ合計の 21
 割り当て、ユーザー役割の 11
 Payments マーチャントの作成 10
 Payments ユーザー・インターフェースへのアクセス 9
定義、Payments ユーザーの 11
デフォルト・インストール・ディレクトリー vi
デポジット、決済の 17
 分割決済 17
 分割デポジット 17
特記事項 55

[ハ行]

発行、クレジットの 19
バッチ 19
 削除 19
 清算 17
バッチ検索
 削除 18
 詳細情報 18
 設定 18
バッチ合計 21
 通貨ごと 21
 表示 21
 レポート 21
パラメーター 25
販売 16
 自動デポジット 16
 承認 16

販売 (続き)

承認、オーダーの 16

定義 16

デポジット 16

販売機能によるオーダーの承認 16

表示、バッチ合計の 21

複数決済フレームワーク

カセット 1

フレームワーク、カセット 1

[マ行]

マーチャント vi

マーチャント管理者 vii, 2, 3, 11, 12

マーチャント設定 10

マーチャントの作成 10

戻りコード 35

値 35

説明 35

2 次戻りコード 35

[ヤ行]

役割 2, 11

クランク 2

顧客サービス・スーパーバイザー 2

サイト管理者 2

スーパーバイザー 2

マーチャント管理者 2

Payments 管理者 2

役割の対応 11

オペレーションまたはセールス・マネージャー 11

クランク 11

サイト管理者 11

スーパーバイザー 11

マーチャント管理者 11

Payments 管理者 11

WebSphere Commerce Payments アクセ
スなし 11

ユーザー 11

定義 11

Pat 11

ユーザー・インターフェース 9

アクセス 9

ログオン 12

パスワード 9

ユーザー ID 9

用語集 59

[ラ行]

リモート・インストール 11

レポート 21

通貨ごと 21

レポート (続き)

バッチ合計の表示 21

ログオフ 12

[ワ行]

割り当て、ユーザー役割の 11

A

AcceptPayment 23

AcceptPayment コマンド 23, 25

Account オブジェクト 33

Approve コマンド 27

ApproveReversal コマンド 28

B

Batch オブジェクト 32

BatchClose コマンド 27

BatchOpen コマンド 29

BatchPurge コマンド 28

C

CancelOrder コマンド 28

CassetteControl コマンド 30

CloseOrder コマンド 28

CollectPayment() 24

CreateAccount コマンド 29

CreateMerchantCassetteObject コマンド 30

CreatePaySystem コマンド 30

CreateSystemCassetteObject コマンド 30

Credit オブジェクト 32

Custom Store 11

CustomOffline Cassette 5

手動承認 5

定義 5

D

DeleteAccount コマンド 30

DeleteBatch コマンド 29

DeleteMerchantCassetteObject コマンド 30

DeletePaySystem コマンド 30

DeleteSystemCassetteObject コマンド 30

Deposit コマンド 28

DepositReversal コマンド 28

H

HTTP サーバーのポート番号 10

M

ModifyAccount コマンド 29

ModifyCassette コマンド 30

ModifyMerchantCassetteObject コマンド
30

ModifyPaySystem コマンド 30

ModifySystemCassetteObject コマンド 30

O

Order オブジェクト 31

P

Payment Manager v

Payment オブジェクト 32

Payments Web アドレス 9

Payments 管理者 vi, 2, 3, 9, 11

R

ReceivePayment 29

ReceivePayment コマンド 23

Refund コマンド 28

RefundReversal コマンド 29

S

Sample Checkout 14, 15

キャッシュャー・プロファイル

BillMe プロファイル 24

COD プロファイル 24

作成、オーダーの 14

サンプル・アカウント番号 13

サンプル・マーチャント番号 15

SampleCheckout.xml 14

Web アドレス 14

W

Web アドレス vii, viii, 9

管理コンソール 11

ドキュメンテーション 2

Payments 9

Sample Checkout 15

WebSphere Commerce Payments 2, 9

概要 1

コンポーネント

Web サーバー 4

WebSphere Application Server 4

WebSphere Commerce Payments サ

ープレット 4

定義 1

役割 2

WebSphere Commerce Payments (続き)

担当範囲 3

ユーザー・インターフェース 3

WebSphere Commerce Payments アクセス

なし 12

WebSphere Commerce および WebSphere

Commerce Payments 2



Printed in Japan